

**F1A55-M LK R2.0**



**Motherboard**

J7391

第1版 第1刷  
2012年7月

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

#### **Offer to Provide Source Code of Certain Software**

This product contains copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL"), under the Lesser General Public License Version ("LGPL") and/or other Free Open Source Software Licenses. Such software in this product is distributed without any warranty to the extent permitted by the applicable law. Copies of these licenses are included in this product.

Where the applicable license entitles you to the source code of such software and/or other additional data, you may obtain it for a period of three years after our last shipment of the product, either

- (1) for free by downloading it from <http://support.asus.com/download>

or

- (2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.  
Legal Compliance Dept.  
15 Li Te Rd.,  
Beitou, Taipei 112  
Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address [gpl@asus.com](mailto:gpl@asus.com), stating the product and describing the problem (please DO NOT send large attachments such as source code archives, etc. to this email address).

# もくじ

安全上のご注意 .....	vi
このマニュアルについて.....	vii
F1A55-M LK R2.0 仕様一覧.....	ix

## Chapter 1 製品の概要

1.1	ようこそ .....	1-1
1.2	パッケージの内容.....	1-1
1.3	独自機能 .....	1-1
1.3.1	製品の特長 .....	1-1
1.3.2	ASUS Hybrid DIGI+ VRM .....	1-2
1.3.3	その他の機能.....	1-3
1.4	始める前に.....	1-5
1.5	マザーボードの概要.....	1-6
1.5.1	設置方向.....	1-6
1.5.2	ネジ穴.....	1-6
1.5.3	マザーボードのレイアウト .....	1-7
1.5.4	レイアウトの内容.....	1-7
1.6	APU.....	1-8
1.6.1	APUを取り付ける.....	1-8
1.6.2	CPUクーラーを取り付ける.....	1-10
1.7	システムメモリー .....	1-11
1.7.1	概要 .....	1-11
1.7.2	メモリー構成 .....	1-12
1.7.3	メモリーを取り付ける .....	1-16
1.7.4	メモリーを取り外す .....	1-16
1.8	拡張スロット .....	1-17
1.8.1	拡張カードを取り付ける.....	1-17
1.8.2	拡張カードを設定する .....	1-17
1.8.3	PCI スロット.....	1-17
1.8.4	PCI Express 2.0 x1 スロット .....	1-17
1.8.5	PCI Express 2.0 x16 スロット.....	1-17
1.9	ジャンパ.....	1-18
1.10	コネクタ .....	1-20
1.10.1	パックパネルコネクタ .....	1-20
1.10.2	内部コネクタ .....	1-21

# もくじ

<b>1.11</b>	<b>ソフトウェア</b> .....	<b>1-27</b>
1.11.1	OSをインストールする.....	1-27
1.11.2	サポートDVD情報.....	1-27
1.11.3	サポートDVDを実行する.....	1-27

## Chapter 2 UEFI BIOS情報

<b>2.1</b>	<b>UEFI BIOS管理更新</b> .....	<b>2-1</b>
2.1.1	ASUS Update.....	2-1
2.1.2	ASUS EZ Flash 2.....	2-2
2.1.3	ASUS CrashFree BIOS 3.....	2-3
2.1.4	ASUS BIOS Updater.....	2-4
<b>2.2</b>	<b>UEFI BIOS Utility</b> .....	<b>2-6</b>
<b>2.3</b>	<b>メインメニュー</b> .....	<b>2-10</b>
2.3.1	System Language [English].....	2-10
2.3.2	System Date [Day xx/xx/xxxx].....	2-10
2.3.3	System Time [xx:xx:xx].....	2-10
2.3.4	Security.....	2-10
<b>2.4</b>	<b>Ai Tweaker メニュー</b> .....	<b>2-12</b>
2.4.1	Ai Overclock Tuner [Auto].....	2-13
2.4.2	Memory Frequency [Auto].....	2-13
2.4.3	APU Multiplier [Auto].....	2-13
2.4.4	EPU Power Saving Mode [Disabled].....	2-13
2.4.5	OC Tuner.....	2-13
2.4.6	DRAM Timing Control.....	2-14
2.4.7	Hybrid DIGI+ VRM.....	2-14
2.4.8	CPU Voltage [Offset Mode].....	2-14
2.4.9	DRAM Voltage [Auto].....	2-15
2.4.10	APU Spread Spectrum [Auto].....	2-15
<b>2.5</b>	<b>アドバンスドメニュー</b> .....	<b>2-16</b>
2.5.1	CPU設定.....	2-16
2.5.2	SATA設定.....	2-17
2.5.3	USB 設定.....	2-17
2.5.4	ノースブリッジ設定.....	2-18
2.5.5	オンボードデバイス設定構成.....	2-18
2.5.6	APM.....	2-19
2.5.7	Network Stack.....	2-19

## もくじ

<b>2.6</b>	<b>モニターメニュー</b> .....	<b>2-20</b>
2.6.1	CPU Temperature / MB Temperature [xxx°C/xxx°F].....	2-20
2.6.2	CPU / Chassis Fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A].....	2-20
2.6.3	CPU Q-Fan Control [Enabled].....	2-20
2.6.4	CPU Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage.....	2-21
2.6.5	Anti Surge Support [Enabled].....	2-21
<b>2.7</b>	<b>ブートメニュー</b> .....	<b>2-22</b>
2.7.1	Bootup NumLock State [On].....	2-22
2.7.2	Full Screen Logo [Enabled].....	2-22
2.7.3	Wait for 'F1' If Error [Enabled].....	2-22
2.7.4	Option ROM Messages [Force BIOS].....	2-23
2.7.5	Setup Mode [EZ Mode].....	2-23
2.7.6	UEFI/Legacy Boot [Enabled both UEFI and Legacy].....	2-23
2.7.7	PCI ROM Priority [Legacy ROM].....	2-23
2.7.8	Boot Option Priorities.....	2-23
2.7.9	Boot Override.....	2-23
<b>2.8</b>	<b>ツールメニュー</b> .....	<b>2-24</b>
2.8.1	ASUS EZ Flash Utility.....	2-24
2.8.2	ASUS O.C. Profile.....	2-24
2.8.3	ASUS SPD Information.....	2-24
<b>2.9</b>	<b>終了メニュー</b> .....	<b>2-25</b>

## Chapter 3 付録

<b>ご注意</b> .....	<b>3-1</b>
------------------	------------

## 安全上のご注意

### 電気の取り扱い

- ・ 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 周辺機器の取り付け・取り外しの際は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ ケーブルの接続・取り外しの際は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電圧が分からない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。
- ・ 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。
- ・ 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス1レーザー製品に分類されています。(本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります)



不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

### 操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

### 回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

# このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

## マニュアルの概要

本章は以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1:製品の概要**  
マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明、及びコンポーネントの取り付けに必要なハードウェアのセットアップ手順及びスイッチ、コネクタの説明。
- **Chapter 2:UEFI BIOS 設定**  
UEFI BIOS Utilityでのシステム設定の変更方法とUEFI BIOSパラメータの詳細。
- **Chapter 3:付録**  
製品の規格や海外の法令についての説明。

## 詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、UEFI BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. **ASUSオフィシャルサイト (<http://www.asus.co.jp/>)**  
各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。
2. **追加ドキュメント**  
パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

## このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



**危険/警告:**本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



**注意:**本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



**重要:**作業を完了させるために、従わなければならない指示です。



**注記:**本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

## 表記

### 太字

選択するメニューや項目を表示します。

### 斜字

文字やフレーズを強調する時に使います。

### <Key>

<>で囲った文字は、キーボードのキーです。  
例:<Enter>→Enterもしくはリターンキーを押してください。

### <Key1+Key2+Key3>

一度に2つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示しています。  
例:<Ctrl+Alt+Del>

## F1A55-M LK R2.0 仕様一覧

<b>APU</b>	<b>Socket FM1:AMD® A/E2 シリーズAPU (最大4コア)</b> - AMD® Radeon™ HD 6000シリーズグラフィックス - DirectX® 11 サポート - AMD® Turbo Core Technology 2.0 サポート * AMD® Turbo Core 2.0 Technology のサポートは、APUのタイプにより異なります。 ** 詳細はASUS Web サイトのサポートリストをご参照ください。 ( <a href="http://www.asus.co.jp">http://www.asus.co.jp</a> )
<b>チップセット</b>	AMD® A55 FCH (Hudson D2)
<b>メモリー</b>	メモリスロット×2:最大32GB DDR3 1866/1600/1333/1066 MHz、non-ECC、unbuffered メモリーサポート デュアルチャンネルメモリーアーキテクチャ * 1つのスロットに16GBのメモリーモジュールを取り付けることで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。 ** 詳細はASUSオフィシャルサイトの最新のQVL(推奨ベンダーリスト)をご参照ください。 *** Windows® 32bit OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、認識されるメモリーは4GB未満となります。Windows® 32bit OSを使用される場合は、4GB未満のシステムメモリー構成にすることを勧めます。
<b>グラフィックス</b>	<b>APU統合型グラフィックス AMD® Radeon™ HD 6000 シリーズ</b> DVI-D:最大解像度1920×1200 @60Hz VGA:最大解像度1920×1600 @60Hz Microsoft® DirectX® 11 サポート
<b>マルチGPUサポート</b>	LucidLogix® Virtu MVP Technology サポート (Windows® 7のみ) * 次の型番以降のビデオカードのみをサポートします。 - NVIDIA® GeForce® 4xx/5xx series - AMD Radeon™ HD 5xxx/HD6xxx series
<b>拡張スロット</b>	PCI Express 2.0 x16 スロット×1 PCI Express 2.0 x1 スロット×1 PCI スロット×1
<b>記憶装置 / RAID</b>	AMD® A55 FCH: - SATA 3Gb/s コネクタ×4(RAID0/1/10、JBODサポート)
<b>LAN</b>	Qualcomm Atheros® 8161 ギガビット・イーサネット・コントローラー
<b>オーディオ</b>	Realtek® ALC887 8チャンネルオーディオコーデック * 8チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。
<b>USB</b>	AMD® A55 FCH: - USB 2.0ポート×8 (2ポート拡張コネクタ×2基、バックパネル×4ポート)

(次項へ)

## F1A55-M LK R2.0 仕様一覧

<b>ASUSだけの機能</b>	<b>ASUS Hybrid DIGI+ VRM:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ASUS 3+1 フェーズデジタル電源設計</li> </ul> <b>ASUSだけの機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Network iControl*</li> <li>- ASUS EPU</li> <li>- ASUS AI Suite II</li> <li>- Anti-Surge Protection</li> <li>- ASUS UEFI BIOS EZ Mode</li> <li>- ASUS Fan Xpert</li> <li>- ASUS CrashFree BIOS 3</li> <li>- ASUS EZ Flash 2</li> <li>- ASUS MyLogo 2™</li> </ul> <p>* Network iControlはWindows® XP/Vistaをサポートしておりません。また、オンボードLANコントローラー以外には対応していません。</p>
<b>バックパネルI/Oポート</b>	PS/2 マウスポート×1 (グリーン) PS/2 キーボードポート (パープル) DVI-D 出力ポート×1 VGA出力ポート×1 LAN (RJ-45) ポート×1 USB 2.0ポート×4 オーディオ I/O ポート×3 (8チャンネル対応)
<b>内部I/Oコネクタ</b>	USB 2.0コネクタ×2:追加USB 2.0ポート4基に対応 フロントパネルオーディオコネクタ×1 SATA 3Gb/sコネクタ×4 シリアルポートコネクタ×1 システムパネルコネクタ×1 ビープスピーカコネクタ×1 CPUファンコネクタ×1 ケースファンコネクタ×1 24ピン EATX電源コネクタ×1 4ピン ATX 12V電源コネクタ×1
<b>UEFI BIOS機能</b>	64Mb Flash ROM、UEFI BIOS、PnP、DMI v2.0、WfM 2.0、ACPI 2.0a、SM BIOS v2.6
<b>サポート DVD</b>	ドライバー各種 ASUS ユーティリティ各種 マニュアル各種 アンチウイルスソフトウェア (OEM版)
<b>フォームファクター</b>	MicroATXフォームファクター: 22.6 cm×18.6 cm (8.9インチ×7.3インチ)

\* 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

# Chapter 1

## 製品の概要

### 1.1 ようこそ

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は多くの新機能と最新のテクノロジーを提供するASUSの高品質マザーボードです。マザーボードとハードウェアデバイスの取り付けを始める前に、以下のリストに従って部品が全て揃っていることをご確認ください。

### 1.2 パッケージの内容

マザーボードパッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

マザーボード	ASUS F1A55-M LK R2.0
ケーブル	SATA 3Gb/s ケーブル×2
アクセサリ	I/Oシールド×1
アプリケーションDVD	サポートDVD
ドキュメント	ユーザーマニュアル



万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

### 1.3 独自機能

#### 1.3.1 製品の特長



#### AMD® A/E2 シリーズAPU (Accelerated Processing Unit)

本マザーボードは最大4コアまでのAMD® A/E2 シリーズAPU (Accelerated Processing Unit) をサポートします。この革新的なAPUは素晴らしい性能と省電力性能を兼ね備えています。また、DirectX11対応のAMD® Radeon™ HD 6000 シリーズグラフィックスを搭載しているので、ハイクオリティで美しいグラフィックスをスムーズに描画することが可能です。さらに、AMD® A/E2 シリーズAPUはAMD® Turbo Core Technology、デュアルチャンネルDDR3メモリー、最大5GT/sのリンクスピードをサポートします。



### AMD® A55 FCH (Hudson D2) チップセット

AMD® A55 FCH はリンクスピード最大5GT/sのインターフェースをサポートします。また、PCI Express 2.0 を4レーン分使用することが可能です。



### 8チャンネルHDオーディオ

オンボード 8 チャンネルHDオーディオ (High Definition Audio、コードネームAzalia) CODECは、ハイクオリティの 192KHz/24bit のリニアPCM、オーディオジャック検出機能、ジャックリタスキング機能に対応しています。



### Gigabit LANソリューション

本製品に搭載されたLANコントローラーは高度に統合されたギガビット・イーサネット・コントローラーです。ACPI機能対応により消費電力の低減を実現し、より高度なオペレーションを提供します。

## 1.3.2 ASUS Hybrid DIGI+ VRM



### Hybrid DIGI+ VRM

Hybrid DIGI+ VRMはASUSハイエンドマザーボード用に開発されたテクノロジーに基づいて設計され、AMD® A55 FCH チップセットを搭載したマザーボードにおいてAPU電圧やVRM動作周波数を調整することを可能にします。電源周りを細かく調整可能にすることで、より柔軟なシステムチューニングを行うことができるようになります。Hybrid DIGI+ VRMでマルチタスク性能を向上させ、ゲームやマルチメディアなど様々なアプリケーションに対応するオールラウンド・プラットフォームを構築することも可能です。

\* Hybrid DIGI+ VRMの各機能はSocket FM1互換APUでも利用可能です。



### EPU

ASUS独自の電力管理専用チップEPU (Energy Processing Unit) によって、世界初のPCのリアルタイム省電力機能を有効にすることができます。現在のPCの負荷状態を検出し、自動で効率よく電力消費を抑えることにより、システム全体のエネルギー効率を最適化します。また、この機能は適切な電源管理を行うことでファンのノイズを軽減し、コンポーネントの寿命を延ばします。

### 1.3.3 その他の機能



#### ASUS UEFI BIOS

##### 柔軟性が高く使い易いインターフェース

ASUSのUEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースで、詳細設定モード (Advanced mode) と簡易設定モード (EZ mode) を切り替えて使用することができます。ASUS UEFI BIOSは従来のMBR (Master Boot Record) に代わるGUIDパーティションテーブル (GPT) をサポートしているため、対応64bitオペレーティングシステム上で2.2TBを超える記憶装置の全領域を利用することができます。

##### ASUSだけのインターフェース

EZ Mode は多くのユーザーが頻繁にアクセスする項目が表示されます。システムパフォーマンス設定の選択や、起動順序をドラッグ&ドロップで選択することができます。Advanced Mode は従来のBIOSのような詳細な項目が表示され、CPUやメモリーの詳細設定など複雑なシステム設定を行うことが可能です。

##### 強化された機能

- F12ファンクションキーを押すことによってUEFI BIOS画面のスクリーンショットを撮影し、オンボードUSBポートに接続したUSBメモリーに保存することができます。設定情報の共有やトラブルシューティングにご活用いただけます。
- F3ファンクションキーを押すことによって、ショートカットメニューを表示し頻繁にアクセスする項目に直接移動することができます。
- ASUS DRAM SPD (Serial Presence Detect) は、迅速且つ簡単にDRAMの状況をチェックする機能です。問題のあるメモリーを検知し、メモリーによるPOST問題を素早く解決に導きます。



#### Network iControl

Network iControl は、たったワンクリックの操作で現在のネットワーク状態を管理し、使用中のアプリケーションへ優先的にネットワーク帯域を割り当てます。また、各プログラムの帯域優先度を設定しプロファイルに保存することで、よく利用するプログラムやネットワーク帯域が必要になるプログラムのネットワーク帯域を簡単に最適化することができます。プロファイルではプログラムごとに時間による制限も設定することができます。さらに、自動PPPoEネットワーク接続やTCP遅延回避機能も備えた、使いやすいネットワークコントロールセンターです。

---

Network iControlはWindows® XP/Vista をサポートしておりません。また、オンボードLANコントローラー以外には対応しておりません。

---



#### ASUS Anti-Surge

電源ユニットの入力電圧切り替え時など、電圧変動時に発生しやすい異常電圧からマザーボードや高価なデバイスを保護します。



### AI Suite II

ASUS AI Suite II は使いやすいユーザーインターフェースにより、オーバークロックや電源管理、ファンスピードの調節、電圧と温度センサーの表示、ステータスの読み込みを行うASUS独自の各種ユーティリティの操作が簡単に行えます。また、このユーティリティ一つで各種操作が行えますので、複数のユーティリティを起動する煩わしさを解消します。



### Fan Xpert

ASUS Fan Xpert は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め準備されたプロファイルから設定を選択することにより、ファン速度を臨機応変にコントロールすることもできます。

### ASUS MyLogo2™

システム起動時のフルスクリーンロゴを、お好きな画像に変更することができます。



### ASUS CrashFree BIOS 3

破損したUEFI BIOSデータをBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリ一、またはサポートDVDから自動的に復旧することができます。



### ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ-Flash 2はフロッピーの起動ディスクやOSベースのユーティリティを使用せずにUEFI BIOSを更新することができるユーザーフレンドリーなユーティリティです。



### C.P.R. (CPU Parameter Recall)

C.P.R.機能は、オーバークロックが原因でシステムがハングした場合に自動的にUEFI BIOSをデフォルト設定値に復旧します。オーバークロック時にシステムがハングした場合、UEFI BIOSをデフォルト設定値に自動再設定します。シャットダウンし、再起動するだけです。ケースを開けてRTCデータをクリアする必要はありません。



### ErP ready

本製品は、European Union's Energy-related Products (ErP) 対応製品です。ErP対応製品は、エネルギー消費に関して、ある一定のエネルギー効率要件を満たしている必要があります。これはASUSの革新的製品設計で環境に優しい、エネルギー効率の良い製品を提供することで、二酸化炭素排出量を削減し、環境保護に努めるというASUSの企業理念と合致するものです。

## 1.4 始める前に

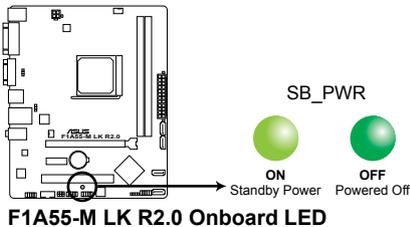
マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- ICに触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置るか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX電源ユニットのスイッチがOFFの位置にあるか、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。

### スタンバイ電源LED

本マザーボードにはスタンバイ電源LEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します(スリープモード、ソフトオフモードも含む)。マザーボードに各パーツの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



## 1.5 マザーボードの概要

### 1.5.1 設置方向

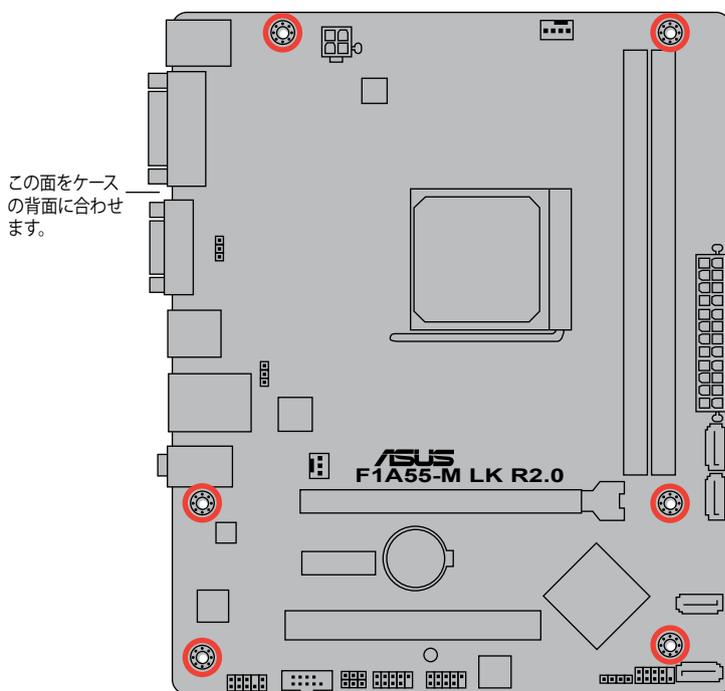
マザーボードが正しい向きでケースに取り付けられているかを確認してください。下の図のようにバックパネルコネクタ側をケースの背面部分に合わせます。

### 1.5.2 ネジ穴

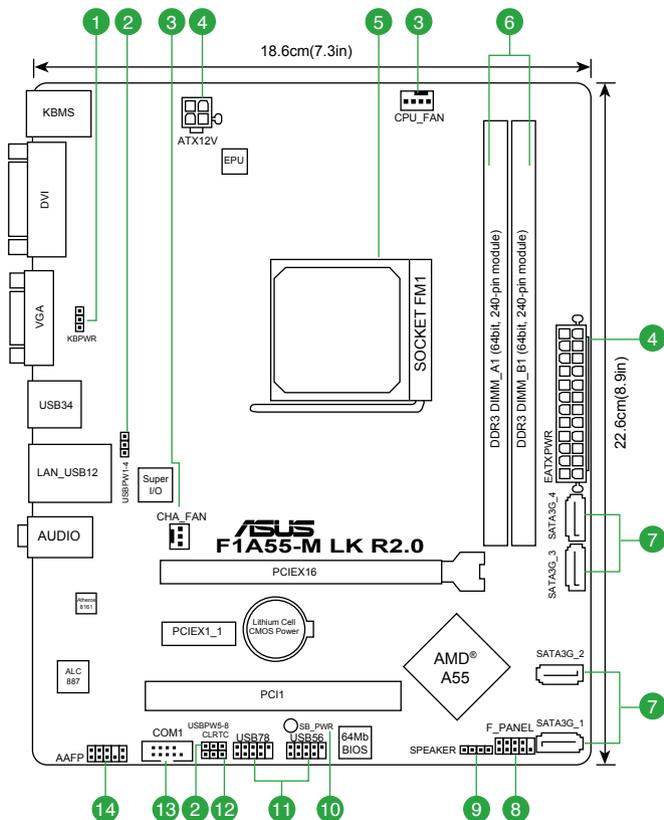
ネジ穴は6カ所あります。ネジ穴の位置を合わせてマザーボードをケースに固定します。



ネジをきつく締めすぎないでください。マザーボードの損傷の原因となります。



## 1.5.3 マザーボードのレイアウト



## 1.5.4 レイアウトの内容

コネクタ/ジャンパ/スロット/LED	ページ	コネクタ/ジャンパ/スロット/LED	ページ
1. キーボード電源ジャンパ(3-ピン KBPWR)	1-19	8. システムパネルコネクタ (10-1ピン F_PANEL)	1-24
2. USBデバイスウェイクアップジャンパ (3-ピン USBPW1-4, 3-ピン USBPW5-8)	1-19	9. ビープスピーカコネクタ (4-ピン SPEAKER)	1-22
3. CPUファン、ケースファンコネクタ (4-ピン CPU_FAN, 3-ピン CHA_FAN)	1-21	10. スタンバイ電源LED (SB_PWR)	1-5
4. ATX電源コネクタ (24-ピン EATXPWR, 4-ピン ATX12V)	1-22	11. USB 2.0 コネクタ (10-1ピン USB56, USB78)	1-26
5. Socket FM1	1-8	12. Clear CMOSジャンパスイッチ (3ピン CLRRTC)	1-18
6. DDR3 メモリスロット	1-11	13. シリアルポートコネクタ (10-1ピン COM1)	1-25
7. SATA 3Gb/s コネクタ (7ピン SATA3G_1-4)	1-23	14. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1ピン AAFP)	1-25

## 1.6 APU

本製品には、AMD® A/E2 シリーズAPUに対応するSocket FM1 が搭載されています。

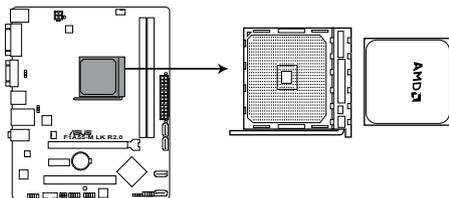


Socket FM1に対応するAPUをご使用ください。APUは取り付ける向きが決まっています。無理にはめ込もうとしないでください。破損の原因となります。

### 1.6.1 APUを取り付ける

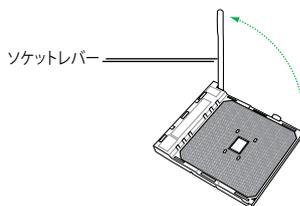
手順

1. マザーボードのソケットの位置を確認します。



F1A55-M LK R2.0 CPU socket FM1

2. 脇にあるレバーを押し下げ、ソケットを解除します。次に、ソケットレバーを90°-100°ほど持ち上げます。

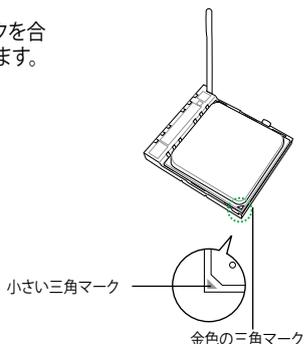


ソケットレバーを 90°-100° ほど持ち上げないと、APUを正しく取り付けることができません。ご注意ください。

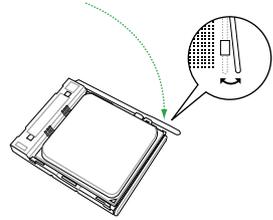
3. APUの金色の三角マークとソケットの小さい三角マークを合わせるように位置を確認し、APUをソケットに差し込みます。



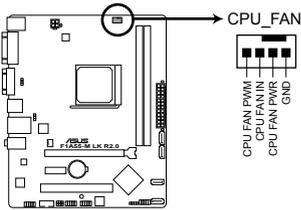
APUは取り付ける向きが決まっています。無理にはめ込もうとしないでください。破損の原因となります。



4. APUがしっかりはまったら、ソケットのレバーを押し戻し、APUを固定します。
5. CPUクーラー（ヒートシンクとファン）を取り付けます。取り付け方法はCPUクーラー付属のマニュアル、または本マニュアルの「1.6.2 CPUクーラーを取り付ける」をご参照ください。



6. CPUクーラーの電源ケーブルをCPU\_FAN コネクターに接続します。



**F1A55-M LK R2.0 CPU fan connector**



CPUファンの電源ケーブルを必ず接続してください。接続しないと、ハードウェアのモニタリングエラーが発生します。

## 1.6.2 CPUクーラーを取り付ける



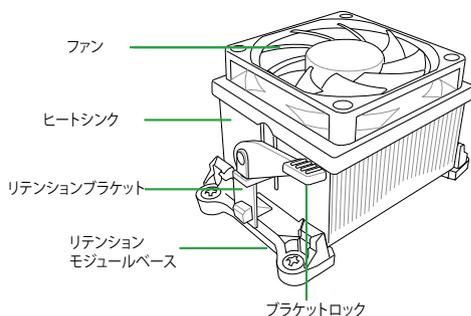
AMD純正、及び製造メーカー各社の動作検証済みCPUクーラーをご使用ください。

CPUクーラー（ヒートシンクとファン）の取り付け手順

1. CPUクーラーがリテンションモジュールベースの位置と合っていることを確認しながら、CPUクーラーをAPUの上に置きます。

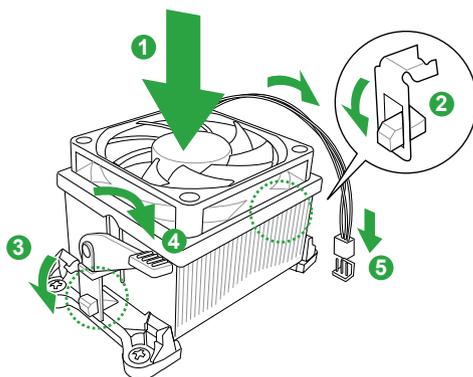


- リテンションモジュールベースは既にマザーボードに取り付けられています。
- リテンションモジュールベースを取り外す必要はありません。
- ヒートシンクとファンを別々にご購入の場合は、マザーボードへ設置する前にインテグレートッド・ヒート・スプレッター (IHS) とCPUクーラーの接点位置のサーマルグリス塗布を必ずご確認ください。



BOX版のAPUにはCPUクーラーの取り付け方法を記載した説明書等が付属しています。本マニュアルと内容が異なる場合は、BOX版に付属の説明書等の指示に従ってください。

2. ブラケットの一方をリテンションモジュールベースに取り付けます。



3. ブラケットのもう一方をリテンションモジュールベースに取り付けます。カチッと音がするまでしっかり差し込みます。



CPUクーラーがリテンションモジュールベースにしっかり取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、ブラケットロックを所定の位置に固定することができません。

4. ブラケットロックを押し下げ、CPUクーラーをリテンションモジュールベースに固定します。
5. マザーボード上のCPU\_FAN コネクターにCPUファン電源ケーブルを接続します。



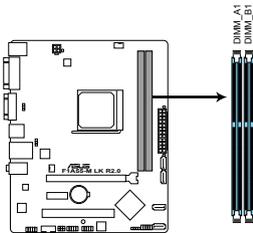
CPUクーラーの電源ケーブルを必ず接続してください。接続しないと、ハードウェアのモニタリングエラーが発生します。

## 1.7 システムメモリー

### 1.7.1 概要

本製品には、DDR3 メモリーに対応したメモリースロットが2基搭載されています。

DDR3メモリーはDDR2メモリーと同様の大きさですが、DDR2メモリースロットに誤って取り付けることを防ぐため、ノッチの位置は異なります。DDR3メモリーは電力消費を抑えて性能を向上させます。



F1A55-M LK R2.0 240ピン DDR3 DIMM Slots

チャンネル	ソケット
Channel A	DIMM_A1
Channel B	DIMM_B1

## 1.7.2 メモリー構成

本マザーボードには1GB、2GB、4GB、8GB、16GBのNon-ECC、Unbufferd DDR3 メモリーをメモリースロットに取り付けることができます。



- 容量の異なるメモリーを Channel A と Channel B に取り付けることができます。異なる容量のメモリーをデュアルチャンネル構成で取り付けた場合、アクセス領域はメモリー容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの同じ製造週のものを取り付けることをお勧めします。
- メモリーの割り当てに関する制限により、32bit Windows OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、OSが実際に利用可能な物理メモリーは4GB未満となります。メモリーリソースを効果的にご使用いただくため、次のいずれかのメモリー構成をお勧めします。
  - Windows 32bit OSでは、4GB未満のシステムメモリー構成にする
  - 4GB以上のシステムメモリー構成では、64bit Windows OSをインストールする詳細はMicrosoft® のサポートサイトでご確認ください。  
<http://support.microsoft.com/kb/929605/ja>
- 本マザーボードは512 Mb (64MB) 未満のチップで構成されたメモリーをサポートしています。512Mb未満のメモリーチップを搭載したメモリーモジュールは動作保証致しかねます。(メモリーチップセットの容量はMegabit で表し、8 Megabit/Mb=1 Megabyte/MB)。
- 1つのスロットに16GBのメモリーモジュールを使用することで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。また、QVL (推奨ベンダーリスト) は随時更新されています。



- デフォルト設定のメモリー動作周波数はメモリーのSPDにより異なります。デフォルト設定では、特定のメモリーはオーバークロックしてもメーカーが公表する値より低い値で動作する場合があります。メーカーが公表する値、またはそれ以上の周波数で動作させる場合は、「**2.4 Ai Tweaker メニュー**」を参照し手動設定してください。
- メモリーを2枚取り付ける場合やメモリーをオーバークロックする場合は、それに対応可能な冷却システムが必要となります。

## F1A55-M LK R2.0 マザーボード QVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

### DDR3-1866 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップ No.	タイミング	電圧	メモリースロット サポート (オプション)	
								A*	B*
CORSAIR	CMT4GX3M2A1866C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMT6GX3MA1866C9(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1866C9(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-27	1.50V	•	•
G.SKILL	F3-14900CL9D-8GBXL(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-28	1.5V	•	•
KINGSTON	KHX1866C9D3T1K3/3GX(XMP)	3GB(3 x 1GB)	SS	-	-	-	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1866C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	•	•

## DDR3-1600 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)	
								A*	B*
A-Data	AX3U1600XB2G79-2X(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-9-7-21	1.55V-1.75V	•	•
A-Data	AX3U1600GC4G9-2G(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.55V-1.75V	•	•
A-Data	AX3U1600XC4G79-2X(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-9-7-21	1.55V-1.75V	•	•
CORSAIR	TR3X3G1600C8D(XMP)	3GB(3 x 1GB)	SS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMD12GX3M6A1600C8(XMP)	12GB(6 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMP4GX3M2C1600C7(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-8-7-20	1.65V	•	•
CORSAIR	CMX4GX3M2A1600C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•	•
CORSAIR	TR3X6G1600C8 G(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•	•
CORSAIR	TR3X6G1600C8D G(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMP8GX3M2A1600C9(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•	•
CORSAIR	CMX8GX3M4A1600C9(XMP)	8GB(4 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•	•
Crucial	BL25664BN1608.16FF(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	-	•	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-2GBNQ(XMP)	2GB(2 x 1GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBRH(XMP)	4GB(2 x 2GB)	SS	-	-	7-7-7-24	1.6V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-8-24	XMP 1.35V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBRM(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-8-7-24	1.6V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL8D-4GBRM(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.60V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	XMP 1.35V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-4GBRL(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL9T-6GBNQ(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V-1.6V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-8GBRH(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-8-7-24	1.6V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL8D-8GBECO(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	8-8-8-24	XMP 1.35V	•	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-8GBRL(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
GEIL	GET316GB1600C9QC(XMP)	16GB(4 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-28	1.6V	•	•
GEIL	GV34GB1600C8DC(XMP)	2GB	DS	-	-	8-8-8-28	1.6V	•	•
Kingmax	FLGE85F-8BKJ9A FEIS(XMP)	2GB	DS	-	-	-	-	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/12GX(XMP)	12GB(3 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/12GX(XMP)	12GB(3 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9AD3/2G	2GB	DS	-	-	-	1.65V	•	•
KINGSTON	KVR1600D3N11/2G-ES	2GB	DS	KTC	D1288JPNPDL9DU	11-11-11-28	1.35V-1.5V	•	•
KINGSTON	KHX1600C7D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C8D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C8D3T1K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3LK2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	XMP 1.35V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/8GX(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•	•
Super Talent	WA160UX6G9	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9	-	•	•

## DDR3-1333 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)	
								A*	B*
A-Data	AD31333001GOU	1GB	SS	A-Data	AD30908C8D-151C E0906	-	-	•	•
A-Data	AD6311B0823EV	2GB	SS	A-Data	3CCA-1509A	-	-	•	•
A-Data	AXDU1333GC2G9-2G(XMP)	4GB(2 x 2GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.25V-1.35V (low voltage)	•	•
A-Data	AD6311C1624EV	4GB	DS	A-Data	3CCA-1509A	-	-	•	•
Apacer	78.A1GC6.9L1	2GB	DS	Apacer	AM5D5808DEWSBG	-	-	•	•
Apacer	78.A1GC6.9L1	2GB	DS	Apacer	AM5D5808FEQSBG	9	-	•	•
Apacer	78.B1GDE.9L10C	4GB	DS	Apacer	AM5D5908CEHSBG	-	-	•	•
CORSAIR	CM3X1024-1333C9	1GB	SS	-	-	9-9-9-24	1.60V	•	•
CORSAIR	TR3X3G1333C9 G	3GB(3 x 1GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•	•
CORSAIR	TR3X6G1333C9 G	6GB(3x 2GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•	•
CORSAIR	CMD24GX3M6A1333C9(XMP)	24GB(6x4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.60V	•	•
CORSAIR	TW3X4G1333C9D G	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•	•
CORSAIR	CMD8GX3M4A1333C7	8GB(4 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.60V	•	•
Crucial	CT12864BA1339.8FF	1GB	SS	Micron	9FF22D9KPT	9	-	•	•
Crucial	CT25664BA1339.16FF	2GB	DS	Micron	9KF27D9KPT	9	-	•	•
Crucial	BL25664BN1337.16FF (XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-24	1.65V	•	•

(次項へ)

## DDR3-1333 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/ DS	チップ ブランド	チップ No.	タイミ ング	電圧	メモリースロット サポート (オプション)	
								A*	B*
ELPIDA	EBJ10UE8EDF0-DJ-F	1GB	SS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•	•
ELPIDA	EBJ21UE8EDF0-DJ-F	2GB	DS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•	•
G.SKILL	F3-10600CL8D-2GBHK (XMP)	1GB	SS	G.SKILL	-	-	-	•	•
G.SKILL	F3-10600CL9D-2GBNQ	2GB(2 x 1GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
G.SKILL	F3-10666CL7T-3GBPK (XMP)	3GB(3 x 1GB)	SS	-	-	7-7-7-18	1.5~1.6V	•	•
G.SKILL	F3-10666CL8D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	XMP 1.35V	•	•
G.SKILL	F3-10666CL7T-6GBPK (XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-18	1.5~1.6V	•	•
G.SKILL	F3-10666CL7D-8GBRH (XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-7-7-21	1.5V	•	•
GEIL	GET316GB1333C9QC	16GB( 4x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
GEIL	GV32GB1333C9DC	2GB(2 x 1GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
GEIL	GG34GB1333C9DC	4GB(2 x 2GB)	DS	GEIL	GL1128M88BA12N	9-9-9-24	1.3V(low voltage)	•	•
GEIL	GV34GB1333C9DC	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•	•
GEIL	GVP34GB1333C7DC	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-24	1.5V	•	•
Hynix	HMT112U6TFR8A-H9	1GB	SS	Hynix	H5TC1G83FRH9A	-	1.35V(low voltage)	•	•
Hynix	HMT325U6FR8C-H9	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83BFRH9C	-	-	•	•
Hynix	HMT125U6TFR8A-H9	2GB	DS	Hynix	H5TC1G83TRH9A	-	1.35V(low voltage)	•	•
Hynix	HMT351U6BFR8C-H9	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83BFRH9C	-	-	•	•
Kingmax	FLFD45F-B8KL9 NAE5	1GB	SS	Kingmax	KKB8FNWBFGNX-27A	-	-	•	•
Kingmax	FLFE85F-C8KL9 CAE5	2GB	SS	Kingmax	KFC8FMXF-DXX-15A	-	-	•	•
KINGMAX	FLFE85F-C8KL9 NAE5	2GB	SS	KINGMAX	KFC8FNLF-DXX-15A	-	-	•	•
Kingmax	FLFE85F-C8KM9 NAE5	2GB	SS	Kingmax	KFC8FNMXF-BXX-15A	-	-	•	•
Kingmax	FLFE85F-B8KL9 NEE5	2GB	DS	Kingmax	KKB8FNWBFGNX-26A	-	-	•	•
KINGMAX	FLFP65F-C8KL9 NEE5	4GB	DS	KINGMAX	KFC8FNLF-DXX-15A	-	-	•	•
Kingmax	FLFP65F-C8KM9 NEE5	4GB	DS	Kingmax	KFC8FNMXF-BXX-15A	-	-	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/1G	1GB	SS	ELPIDA	J1108BDBG-DJ-F	9	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83AFRH9C	9	-	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	ELPIDA	J1108BFBG-DJ-F	9	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	KTC	D1288JPNPLD9U	9	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	ELPIDA	J1108BDSE-DJ-F	9	1.5V	•	•
KINGSTON	KHX1333C7D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7	1.65V	•	•
KINGSTON	KHX1333C9D3UK2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	XMP 1.25V	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G	4GB	DS	ELPIDA	J2108BCSE-DJ-F	9	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR	-	-	•	•
Micron	MT4JTF12864AZ-1G4D1	1GB	SS	Micron	OJD12D9LGQ	-	-	•	•
Micron	MT8JTF12864AZ-1G4F1	1GB	SS	Micron	9FF22D9KPT	9	-	•	•
Micron	MT8JTF25664AZ-1G4D1	2GB	SS	Micron	OJD12D9LGK	-	-	•	•
Micron	MT16JTF25664AZ-1G4F1	2GB	DS	Micron	9KF27D9KPT	9	-	•	•
Micron	MT16JTF51264AZ-1G4D1	4GB	DS	Micron	QLD22D9LGK	-	-	•	•
PSC	AL7F8G73F-DJ2	1GB	SS	PSC	A3P1GF3FGF	-	-	•	•
PSC	AL8F8G73F-DJ2	2GB	DS	PSC	A3P1GF3FGF	-	-	•	•
SAMSUNG	M378B2873FH5-CH9	1GB	SS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	•	•
SAMSUNG	M378B5773DH0-CH9	2GB	SS	SAMSUNG	K4B2G0846D	-	-	•	•
SAMSUNG	M378B5673FH0-CH9	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	•	•
SAMSUNG	M378B5273CH0-CH9	4GB	DS	SAMSUNG	K4B2G0846C	-	-	•	•
Super Talent	W1333UA1GH	1GB	SS	Hynix	H5TQ1G83TRF	9	-	•	•
Super Talent	W1333X2G8(XMP)	1GB	SS	-	-	8	-	•	•
Super Talent	W1333UB2G5	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F	9	-	•	•
Super Talent	W1333UB4G5	4GB	DS	SAMSUNG	K4B2G0846C	-	-	•	•
Super Talent	W1333UX6GM	6GB(3x 2GB)	DS	Micron	08F27D9KPT	9-9-9-24	1.5V	•	•
Transcend	JM1333KLN-2G	2GB	SS	Micron	0YD77D9LGK	-	-	•	•
Transcend	JM1333KLU-2G	2GB	DS	Transcend	TK243PDF3	-	-	•	•
Transcend	TS256MLK64V3U	2GB	DS	Micron	9GF27D9KPT	-	-	•	•
WINTEC	3WV531333-2G-CNR	2GB	DS	AMPO	AM3420803-13H	-	-	•	•

## DDR3-1066 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップ NO.	タイミ ング	電圧	メモリスロット サポート (オプション)	
								A*	B*
Crucial	CT12864BA1067.8FF	1GB	SS	Micron	9GF22D9KPT	7	-	•	•
Crucial	CT25664BA1067.16FF	2GB	DS	Micron	9HF22D9KPT	7	-	•	•
ELPIDA	EBJ10UE8EDFO-AE-F	1GB	SS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•	•
ELPIDA	EBJ21UE8EDFO-AE-F	2GB	DS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•	•
KINGSTON	KVR1066D3N7/1G	1GB	SS	ELPIDA	J1108BFSE-DJ-F	7	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1066D3N7/2G	2GB	DS	ELPIDA	J1108BFSE-DJ-F	7	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1066D3N7/4G	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR	7	1.5V	•	•
Micron	MT8JTF12864AZ-1G1F1	1GB	SS	Micron	9GF22D9KPT	7	-	•	•
Micron	MT16JTF25664AZ-1G1F1	2GB	DS	Micron	9HF22D9KPT	7	-	•	•



### SS - シングルサイド / DS - ダブルサイド

#### メモリーサポート:

- **A\***: 1組のシングルチャンネルメモリー構成として1枚のメモリーを任意のスロットに取り付けることが可能です。
- **B\***: 1組のデュアルチャンネルメモリー構成として2枚のメモリーを両方のスロットに取り付けることが可能です。



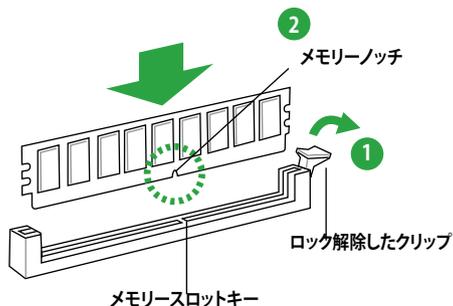
最新のQVLはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

## 1.7.3 メモリーを取り付ける



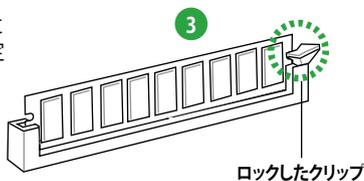
メモリーや他のシステムコンポーネントを追加、または取り外す前に、コンピューターの電源プラグを抜いてください。プラグを差し込んだまま作業すると、マザーボードとコンポーネントが破損する原因となります。

1. クリップを外側に倒し、メモリスロットのロックを解除します。
2. メモリーノッチがメモリスロットキーに一致するように、メモリーをスロットに合わせます。



メモリーは取り付ける向きがあります。間違った向きでメモリーを無理にスロットに差し込むと、メモリーが損傷する原因となります。

3. メモリーの両端を持ち、メモリスロットに対して垂直に差し込みます。クリップが所定の場所に戻りメモリーが正しく取り付けられるまで、メモリーの両端を同時に押しします。



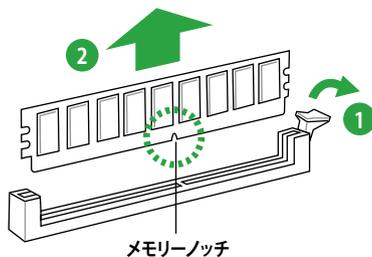
## 1.7.4 メモリーを取り外す

1. クリップを外側に倒して、メモリーのロックを解除します。



クリップを外側に倒す際にメモリーを軽く引き上げると、メモリーに負荷をかけず簡単に引き抜くことができます。

2. メモリーをメモリスロットに対して垂直に引き抜きメモリーを取り外します。



## 1.8 拡張スロット

拡張カードを取り付ける場合は、このページに書かれている拡張スロットに関する説明をお読みください。



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

### 1.8.1 拡張カードを取り付ける

手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルを読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. コンピューターのケースを開けます（マザーボードをケースに取り付けている場合）。
3. カードを取り付けるスロットのブラケットを取り外します。ネジは後で使用するので、大切に保管してください。
4. カードの端子部分をスロットに合わせ、カードがスロットに完全に固定されるまでしっかり押します。
5. カードをネジでケースに固定します。
6. ケースを元に戻します。

### 1.8.2 拡張カードを設定する

拡張カードを取り付けた後、ソフトウェアの設定を行い拡張カードを使用できるようにします。

1. システムの電源をONにし、必要であれば UEFI BIOSの設定を変更します。UEFI BIOSの設定に関する詳細は、Chapter 2 をご参照ください。
2. IRQ (割り込み要求) 番号をカードに合わせます。
3. 拡張カード用のソフトウェアドライバをインストールします。



PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバがIRQの共有をサポートすること、または、カードがIRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQを要求する2つのPCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなることがあります。

### 1.8.3 PCI スロット

LANカード、SCSI カード、USBカード等のPCI 規格準拠のカードをサポートしています。

### 1.8.4 PCI Express 2.0 x1 スロット

PCI Express 2.0 x1 ネットワークカード、SCSI カード等のPCI Express 規格準拠のカードをサポートしています。

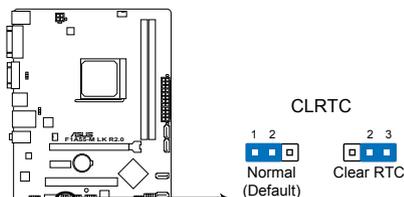
### 1.8.5 PCI Express 2.0 x16 スロット

PCI Express 規格準拠のPCI Express 2.0 x16カードをサポートしています。

## 1.9 ジャンパ

### 1. Clear CMOS ジャンパ (CLRTC)

このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。



**F1A55-M LK R2.0 Clear RTC RAM**

#### RTC RAMをクリアする手順

1. コンピュータの電源をOFFにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をONにします。
4. 起動プロセスの間<Del>を押し、UEFI BIOS Utilityを起動しデータを再入力します。



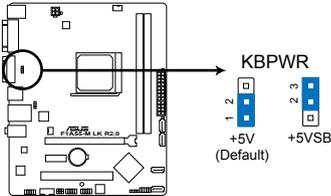
RTC RAMをクリアしている場合を除き、CLRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



- 上記の手順を踏んでもRTC RAMがクリアできない場合は、マザーボードのボタン電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、クリアが終了した後は、電池を元に戻してください。
- オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、UEFI BIOSは自動的にパラメータ設定をデフォルト設定値にリセットします。

## 2. キーボード電源ジャンパ (3ピン KBPWR)

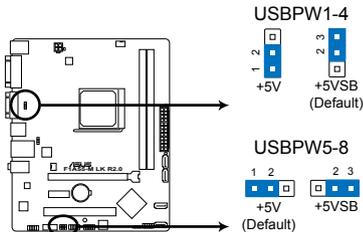
キーボードへの給電方法を設定します。このジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定することでシステムシャットダウン後も待機電力としてキーボードへ電力を供給し、PS/2キーボードでのウェイクアップ機能を可能にします。PS/2キーボードでのウェイクアップ機能を使用するには、+5VSBリード線に少なくとも1Aを供給する電源ユニットとUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。



F1A55-M LK R2.0 Keyboard power setting

## 3. USBデバイスウェイクアップジャンパ (3ピン USBPW1-4, 3ピン USBPW5-8)

USBポートの給電方法を設定します。接続されたUSBデバイスを使用して、S1スタートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン1-2(+5V)に設定します。S3/S4スタートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定します。



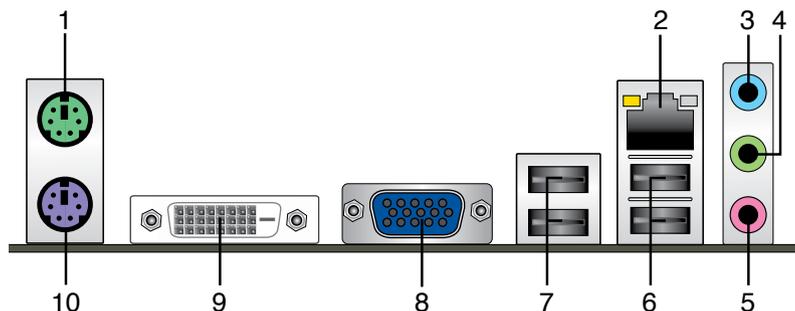
F1A55-M LK R2.0 USB device wake-up



- USBデバイスウェイクアップ機能を使用するには、各USBポート用の+5VSBリード線に500mAを供給可能な電源ユニットが必要です。
- 総電力消費量が電源供給能力(+5VSB)を上回らないようにご注意ください。

## 1.10 コネクター

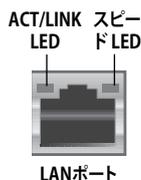
### 1.10.1 パックパネルコネクター



1. **PS/2 マウスポート(グリーン)**:PS/2マウスを接続します。
2. **LAN (RJ-45) ポート**:LANケーブル(RJ-45規格)を接続します。LANポートLEDの表示内容は次の表をご参照ください。

#### LANポートLED

アクティビティ/リンク LED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ送受信中	グリーン	1 Gbps



3. **ライン入力ポート(ライトブルー)**:アナログオーディオソースを接続することで音声の入力/録音をすることができます。
4. **ライン出力ポート(ライム)**:ヘッドホンやスピーカーなどのアナログ出力デバイスを接続します。4、6、8チャンネルのマルチチャンネルオーディオ出力の場合、このポートはフロントスピーカー出力となります。
5. **マイクポート(ピンク)**:マイクなどの録音デバイスを接続します。



2、4、6、8チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、次のオーディオ構成表を参考にしてください。

#### オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル	8チャンネル
ライトブルー (リアパネル)	ライン入力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ライム(リアパネル)	ライン出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力
ピンク(リアパネル)	マイク入力	マイク入力	バス/センター	バス/センター
ライム(フロントパネル)	-	-	-	サイドスピーカー出力



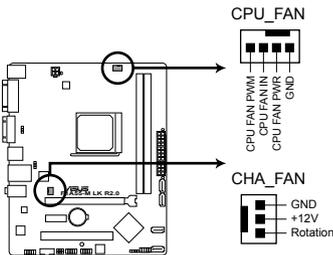
8チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。

6. **USB 2.0ポート1/2:**USB 2.0デバイスを接続することができます。
7. **USB 2.0ポート3/4:**USB 2.0デバイスを接続することができます。
8. **VGA出力ポート:**VGAモニター等のVGA対応デバイスを接続します。
9. **DVI-Dポート:**DVI-Dと互換性のあるデバイスを接続します。DVI-D信号をRGB信号に変換してCRTモニターに出力することはできません。また、DVI-DはDVI-Iとは互換性がありません。また、HDCP互換ですので、HD DVD やBlu-ray ディスク等の保護コンテンツの再生も可能です。
10. **PS/2 キーボード (パープル):**PS/2 キーボードを接続します。

## 1.10.2 内部コネクター

### 1. CPUファン、ケースファンコネクタ (4ピンCPU\_FAN、3ピンCHA\_FAN)

ファンケーブルをマザーボードのファンコネクターに接続し、各ケーブルの黒いワイヤーがコネクターのアースピン (GND) に接続されていることを確認します。



**F1A55-M LK R2.0 Fan connectors**



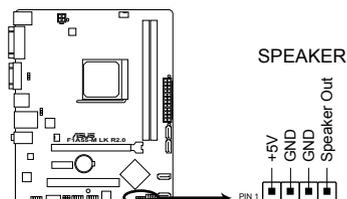
PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン (吸/排気ファン) を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクターにジャンパキャップを取り付けしないでください。



- CPU\_FANコネクターはファン電力1A (12 W) までのCPUファンをサポートしています。
- 4ピンCPUファンだけがASUS Fan Xpert機能をサポートしています。

## 2. ビープスピーカーコネクタ (4ピン SPEAKER)

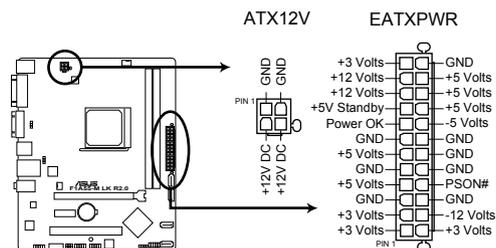
システム警告スピーカー用4ピンコネクタです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を發します。



F1A55-M LK R2.0 Speaker out connector

## 3. ATX電源コネクタ (24ピンEATXPWR, 4ピンATX12V)

ATX電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



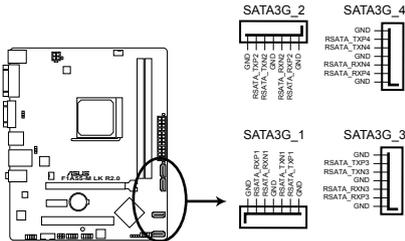
F1A55-M LK R2.0 ATX power connectors



- ・ システムの快適なご利用のために、容量 300W以上のATX 12V Version 2.0 (またはそれ以降) 規格の電源ユニットを使用することをお勧めします。
- ・ ATX12Vコネクタには必ずCPU電源供給用の4ピンプラグを接続してください。4ピンプラグを接続しない場合システムは動作しません。
- ・ 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- ・ システムに最低限必要な電源が分からない場合は：  
<http://support.asus.com/PowerSupplyCalculator/PSCalculator.aspx?SLanguage=ja-jp>  
の「電源用ワット数計算機」をご参照ください。

#### 4. SATA 3Gb/s コネクタ (7ピン SATA3G\_1~4)

これらコネクタはSATA 3Gb/s ケーブル用で、SATA記憶装置と光学ディスクドライブに使用します。SATA記憶装置を取り付けた場合は、オンボードコントローラーによってRAID0/1/10を構築することが可能です。



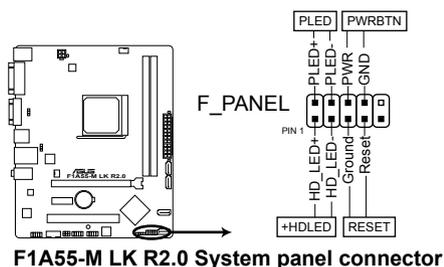
F1A55-M LK R2.0 SATA 3.0Gb/s connectors



- これらコネクタは初期設定で **[IDE]** モードに設定されています。これらのコネクタで SATA RAID を構築する場合は、UEFI BIOS Utility で「**OnChip SATA Type**」を **[RAID]** に設定してください。詳細はセクション「**2.5.2 SATA 設定**」をご参照ください。
- SATA 記憶装置を使用する場合は Windows® XP Service Pack 3 以降の OS をインストールする必要があります。Windows® XP Service Pack 3 以降の OS をご利用の場合は SATA RAID の利用が可能です。
- ホットプラグ機能と NCQ を使用する場合は、UEFI BIOS Utility で「**OnChip SATA Type**」を **[AHCI]** に設定してください。詳細はセクション「**2.5.2 SATA 設定**」をご参照ください。

## 5. システムパネルコネクタ (10-1 ピン F\_PANEL)

このコネクタはPCケースに付属する各機能に対応しています。



- **システム電源LED (2ピン PLED)**

システム電源LED用2ピンコネクタです。PCケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をONにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **ハードディスクドライブアクティビティ LED (2ピン HELED)**

ハードディスクドライブアクティビティLED用2ピンコネクタです。ハードディスクドライブアクティビティLEDケーブルを接続してください。ハードディスクアクティビティLEDは、記憶装置がデータの読み書きを行っているときに点灯するか点滅します。

- **ATX 電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRBTN)**

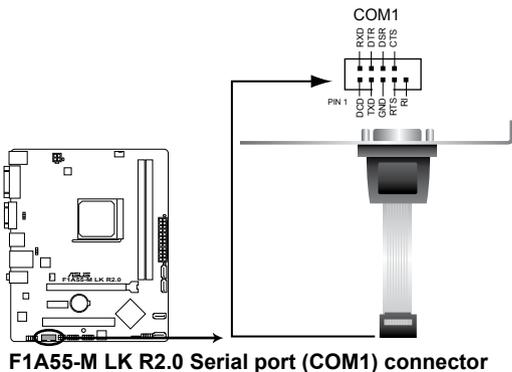
システムの電源ボタン用2ピンコネクタです。電源ボタンを押すとシステムの電源がONになります。OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを4秒以上押し続けると、システムはOSの設定に関わらず強制的にOFFになります。

- **リセットボタン (2ピン RESET)**

リセットボタン用2ピンコネクタです。システムの電源をOFFにせずにシステムを再起動します。

## 6. シリアルポートコネクタ (10-1ピン COM1)

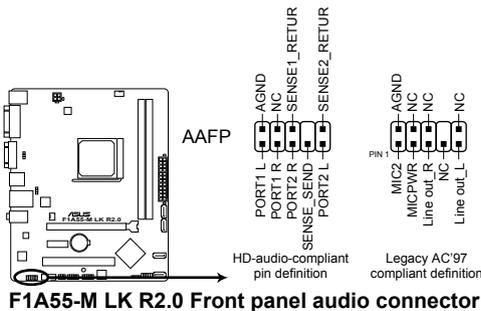
シリアルポート(COMポート)用コネクタです。シリアルポートモジュールのケーブルを接続し、モジュールをバックパネルの任意のスロットに設置します。



シリアルポートモジュールは別途お買い求めください。

## 7. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1ピン AAFP)

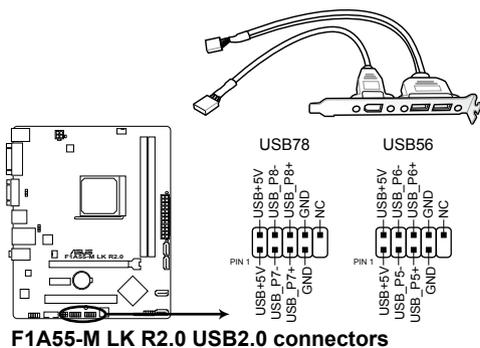
ケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクタで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオI/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HDフロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、UEFI BIOSで「**Front Panel Type**」の項目を **[HD]** に設定します。AC'97フロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、この項目を **[AC97]** に設定します。デフォルト設定は **[HD]** に設定されています。詳細はセクション「**2.5.5 オンボードデバイス設定構成**」をご参照ください。

## 7. USB 2.0 コネクタ (10-1 ピン USB56、USB78)

USB 2.0 ポート用のコネクタです。USB 2.0モジュールのケーブルをこれらのコネクタに接続します。このコネクタは最大 480 Mbps の接続速度を持つ USB 2.0 規格に準拠しています。



IEEE 1394用ケーブルをUSBコネクタに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。



USB 2.0 モジュールは別途お買い求めください。

## 1.11 ソフトウェア

### 1.11.1 OSをインストールする

本製品はWindows® XP / Vista / 7 オペレーティングシステムをサポートしています。ハードウェアの機能を最大限に活用するために、OSは定期的にアップデートしてください。



- 操作方法や設定方法はご使用のオペレーティングシステムにより異なる場合があります。詳しい操作方法などは、ご利用のオペレーティングシステムマニュアルをご覧ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバーをインストールする前に、Windows®XPは Service Pack 3以降、Windows® Vistaは Service Pack 1 以降のサービスパックが適用されていることをご確認ください。

### 1.11.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバー、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のデータは、ASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

### 1.11.3 サポートDVDを実行する

サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの Autorun 機能が有効になっていれば、メニューウィンドウが自動的に表示されます。メニュータブを選択し、インストールする項目を選択してください。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。



サポートDVDとマザーボードの情報を表示します。

インストールする項目を選択します。



Autorun が有効になっていない場合は、サポートDVDの BIN フォルダーから ASSETUP.EXE を選択してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすれば、メニューウィンドウが表示されます。



# Chapter 2

## UEFI BIOS情報

### 2.1 UEFI BIOS管理更新



UEFI BIOSを復旧できるように、オリジナルのマザーボードBIOSファイルをUSBフラッシュメモリーにコピーしてください。UEFI BIOSのコピーにはASUS Update を使用します。

#### 2.1.1 ASUS Update

ASUS Update はWindows® 環境でマザーボードのUEFI BIOSの管理、保存、更新が可能です。



- ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。
- ASUS Update はマザーボードに付属のサポートDVDに収録されています。

#### ASUS Update をインストールする

手順

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。メニューウィンドウが表示されます。
2. 「ユーティリティ」タブをクリックし、「AI Suite II」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、インストールを行います。



本ユーティリティでUEFI BIOSの更新を行う場合は、Windows® アプリケーションを全て終了してから行ってください。

#### UEFI BIOSを更新する

手順

1. Windows® デスクトップから、「スタート」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「AISuiteII」→「AI Suite II X.XX.XX」の順にクリックし、AI Suite II ユーティリティを起動します。AI Suite II メインメニューバーが表示されます。
2. メインメニューバーの「更新」ボタンをクリックし、メニューからASUS Updateをクリックします。ASUS Updateメニューが画面が表示されます。表示されたリストから、任意のアップデート方法を選択します。

インターネットから更新する

- a. BIOS更新方法から「BIOSをインターネットから更新」を選択し「進む」をクリックします。
- b. BIOSファイルをダウンロードするFTPサイトを選択し「進む」をクリックします。UEFI BIOSのダウングレード機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
- c. ダウンロードしたいバージョンを選択し、「進む」をクリックします。

### ファイルから更新する

- a. BIOS更新方法から「**ファイルからBIOSを更新**」を選択し「**進む**」をクリックします。
  - b. 「**参照**」をクリックするか、または自動的に表示されるウインドウからアップデートに使用するBIOSファイルを選択して「**開く**」をクリックし、次に「**進む**」をクリックします。
3. 画面の指示に従い、更新作業を完了します。



ASUS Update ユーティリティをインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるよう、常に最新版をご使用ください。

## 2.1.2 ASUS EZ Flash 2

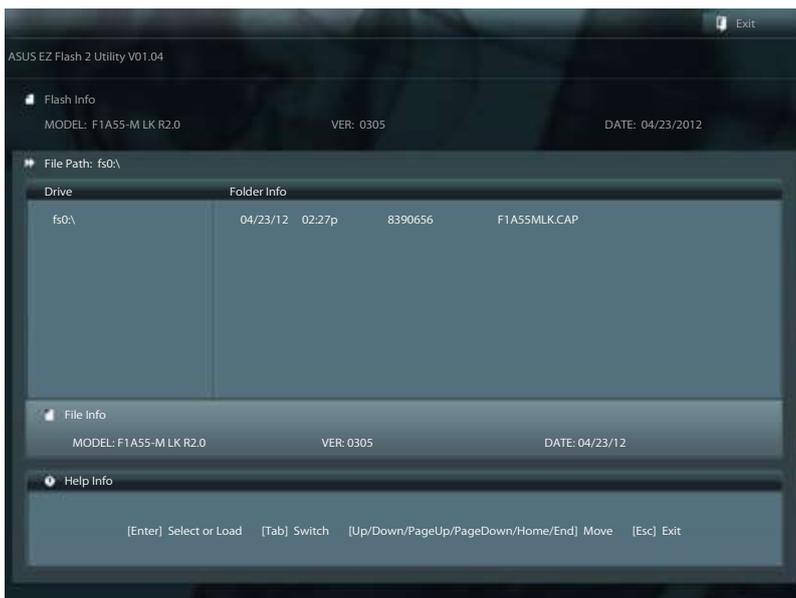
ASUS EZ Flash 2 は起動フロッピーディスクまたはOSベースのユーティリティを使うことなく、UEFI BIOSを短時間で更新することができます。



このユーティリティをご利用になる前に、最新のBIOSをASUSのオフィシャルサイトからダウンロードしてください。(http://www.asus.co.jp)

### 更新手順

1. 最新のBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS の「**Advanced Mode**」を起動し、「**Tool**」メニューの「**ASUS EZ Flash 2 Utility**」を選択します。



3. <Tab> を押し Drive Info フィールドに切り替えます。
4. マウス、またはカーソルキーで最新の BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリーを選択し <Enter> を押します。
5. <Tab> を押し Folder Info フィールドに切り替えます。
6. マウス、またはカーソルキーで BIOS ファイルを選択し、<Enter> を押し UEFI BIOS の更新を実行します。更新作業が完了したら、システムを再起動します。



- FAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションの USB フラッシュメモリーのみサポートします。
- UEFI BIOS 更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOS が破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOS アップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

### 2.1.3 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 は UEFI BIOS の自動復旧ツールで、UEFI BIOS の更新時に障害を起こした場合や破損した BIOS ファイルを復旧します。破損した BIOS ファイルはサポート DVD、または BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリーで更新することができます。



- 本機能を使用する前に、リムーバブルデバイスに保存された BIOS ファイルのファイル名を「**F1A5MLK.CAP**」に変更してください。
- サポート DVD に収録の BIOS ファイルは最新のものではない場合があります。最新バージョンの UEFI BIOS は弊社のサイトで公開しております。USB フラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。( <http://www.asus.co.jp> )

## UEFI BIOSを復旧する

### 手順

1. システムの電源を ON にします。
2. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリー、またはサポート DVD をシステムにセットします。
3. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリー/サポート DVD の検出が始まります。検出されると、BIOS ファイルを読み込み、ASUS EZ Flash 2 が自動的に起動します。
4. UEFI BIOS Utility でデフォルト設定をロードするように指示が表示されます。システムの互換性/安定性の観点から、UEFI BIOS のデフォルト設定をロードすることをお勧めします。



UEFI BIOS の更新や復旧中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOS が破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOS アップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

## 2.1.4 ASUS BIOS Updater

ASUS BIOS Updater は、DOS環境でUEFI BIOSを更新するツールです。また、使用中のBIOSファイルのコピーも可能ですので、UEFI BIOSの更新中にUEFI BIOSが作動しなくなったときやBIOSファイルが破損したとき用のバックアップファイルとしても利用可能です。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

### 更新の前に

1. サポートDVDとFAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーを手元に準備します。
2. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater をASUSのWeb サイトからダウンロードし、USBフラッシュメモリーに保存します。(http://www.asus.co.jp)



- DOS環境ではNTFSはサポートしません。BIOSファイルとBIOS Updater をNTFSフォーマットの記憶装置またはUSBフラッシュメモリーに保存しないでください。
- BIOSファイルのサイズはフロッピーディスクの上限である1.44MBを超えるため、フロッピーディスクに保存することはできません。

3. コンピューターをOFFにし、全てのSATA記憶装置を取り外します。(この作業は必須ではありませんが手順簡略化のため推奨します)

### DOS環境でシステムを起動する

1. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater を保存したUSBフラッシュメモリーをUSBポートに接続します。
2. コンピューターを起動しPOST中に <F8> を押します。続いてBoot Device Select Menu が表示されたらサポートDVDを光学ドライブに挿入し、カーソルキーで光学ドライブを選択して<Enter>を押します。



3. **Make Disk** メニューが表示されたら、項目の番号を押し「FreeDOS command prompt」の項目を選択します。
4. FreeDOSプロンプトで「d:」と入力し、<Enter> を押してドライブをDrive C (光学ドライブ) からDrive D (USBフラッシュメモリー) に切り替えます。SATA記憶装置を接続している場合ドライブパスは異なる場合があります。



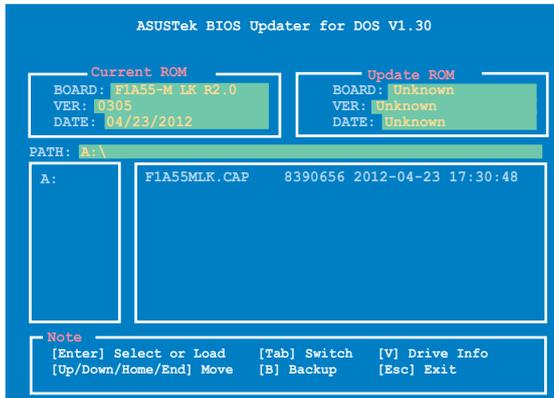
## BIOSファイルを更新する

手順

1. FreeDOSプロンプトで、「bupdater /pc /g」と入力し、<Enter>を押します。

```
D:\>bupdater /pc /g
```

2. 次のようなBIOS Updater 画面が表示されます。



3. <Tab> キーで画面を切り替え、<Up/Down/Home/End> キーでBIOSファイルを選択したら、<Enter>を押します。BIOS Updater は選択したBIOSファイルをチェックし、次のような確認画面が表示されます。



4. 更新を実行するには「Yes」を選択し<Enter>を押します。UEFI BIOSの更新が完了したら<ESC>を押してBIOS Updater を閉じます。続いてコンピューターを再起動します。



UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。



- BIOS Updater バージョン1.30 以降では、更新が終了すると、自動的にDOSプロンプトに戻ります。
- システムの互換性/安定性の観点から、更新後は必ずデフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定のロードは「Exit」の「Load Optimized Defaults」の項目で実行します。詳細はセクション「2.9 終了メニュー」をご参照ください。
- SATA記憶装置を取り外した場合は、BIOSファイル更新後に全てのSATA記憶装置を接続してください。
- サポートDVDからの起動時、画面に「Press Enter to boot from the DVD/CD」と表示される場合は、5秒以内に<Enter>を押してください。5秒を経過するとシステムは通常の起動デバイスからロードを開始します。
- コマンドはBIOS Updater のバージョンにより異なる場合があります。詳細はASUSオフィシャルサイトからダウンロードしたBIOS Updater ファイル内のテキストファイルをご確認ください。

## 2.2 UEFI BIOS Utility

UEFI BIOS Utility ではUEFI BIOSの更新やパラメーターの設定が可能です。UEFI BIOS Utility の画面にはナビゲーションキーとヘルプが表示されます。

### 起動時にUEFI BIOS Utility を開く

手順:

- 起動時の自己診断テスト (POST)の段階で <Delete> を押します。<Delete> を押さない場合は、POSTがそのまま実行されます。

### POSTの後でUEFI BIOS Utility を開く

手順:

- <Ctrl + Alt + Del> を同時に押してシステムを再起動し、POST実行中に <Delete> を押します。
- ケース上のリセットボタンを押してシステムを再起動し、POST実行中に <Delete> を押します。
- 電源ボタンを押してシステムの電源をOFFにした後、システムをONにし、POST実行中に <Delete> を押します。ただし、これは最初の2つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。



OSの動作中に電源ボタンやリセットボタン、<Ctrl + Alt + Del> 等でリセットを行うと、データロスやOSの不具合の原因となります。OSを閉じる際は、通常の方法でシステムをシャットダウンすることをお勧めします。



- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。
- マウスでUEFI BIOS Utility の操作を行う場合は、USBマウスをマザーボードに接続してからシステムの電源をONにしてください。
- UEFI BIOSのデフォルト設定は、通常の使用環境で最適なパフォーマンスを安定して実現できるように設定されています。UEFI BIOS設定を変更した後にシステムが不安定になった場合は、デフォルト設定をロードしてください。ロードの際は、終了メニューの「**Load Optimized Defaults**」を選択します。詳細は本マニュアル「**2.9 終了メニュー**」をご参照ください。
- UEFI BIOS設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行し、マザーボードの設定リセットを行ってください。RTC RAMの消去の方法は「**1.9 ジャンパ**」をご参照ください。
- UEFI BIOS Utility はBluetoothデバイスをサポートしません。



本マニュアルでは、AMD Fusion™ APU(Accelerated Processing Unit)を「APU」または「CPU」と表記しています。

## UEFI BIOSメニュー画面

UEFI BIOS Utility は、**EZ Mode**と **Advanced Mode** の2つのモードで使用することができます。**EZ Mode/Advanced Mode** 画面の「Exit/Advanced Mode」ボタン、または「終了」メニューでモードを変更することができます。

### EZ Mode

デフォルト設定では、UEFI BIOS Utility を起動すると、EZ Mode 画面が表示されます。EZ Mode では、基本的なシステム情報の一覧が表示され、表示言語やシステムパフォーマンスモード、ブートデバイスの優先順位などが設定できます。Advanced Mode を開くには、「Exit/Advanced Mode」をクリックし、「Advanced Mode」を選択します。



UEFI BIOS Utility 起動時に表示する画面は、変更可能です。詳細はセクション「2.7 ブートメニュー」の「Setup Mode」をご参照ください。

表示言語選択

全ファン表示/非表示

終了メニュー

温度/電圧/ファンスピード表示

ASUS UEFI BIOS Utility - EZ Mode

F1A55-M LK R2.0  
BIOS Version : 0305  
CPU Type : AMD Engineering Sample  
Total Memory : 1024 MB (DDR3 1333MHz)

Build Date : 04/23/2012  
Speed : 2400 Mhz

English

Temperature Voltage Fan Speed

CPU		5V		12V		CPU_FAN		CHA_FAN	
+113.0°F/+45.0°C	1.248V	5V	5.160V	3.334V	12V	3325RPM	N/A		
MB +75.2°F/+40.0°C									

Q-Fan Control

Quiet Performance Energy Saving Standard Turbo

Boot Priority

Use the mouse to drag or keyboard to navigate to decide the boot priority.

Default(F5)

ブートデバイス優先順位

モードパフォーマンス

Silentモード

Standardモード

デフォルトをロード

Turboモード



- ブートデバイスの優先順位のオプションは、取り付けたデバイスにより異なります。
- 「Boot Menu(F8)」ボタンは、ブートデバイスがシステムに取り付けられている場合のみ利用可能です。

## Advanced Mode

Advanced Mode は上級者向けのモードで、各種詳細設定が可能です。下の図はAdvanced Mode の表示内容の一例です。各設定項目の詳細は、本マニュアル以降の記載をご参照ください。



EZ Mode を起動するには、「Exit/Advanced Mode」メニューから「ASUS EZ Mode」を選択します。



## メニューバー

画面上部のメニューバーには次の項目があり、主な設定内容は以下のとおりです。

Main	基本システム設定の変更
Ai Tweaker	オーバークロックに関する設定の変更
Advanced	拡張システム設定の変更
Monitor	システム温度、電力の状態の表示、ファンの各設定の変更
Boot	システム起動設定の変更
Tool	独自機能の設定オプション
Exit	終了オプションとデフォルト設定値のロード

## メニュー

メニューバーの各項目を選択することにより、各項目に応じた設定メニューが表示されます。例えば、メニューバーで「Main」を選択すると、「Main」の設定メニューが画面に表示されます。メニューバーのAi Tweaker、Adbanced、Monitor、Boot、Tool、Exitにも、それぞれ設定メニューがあります。

## Back ボタン

サブメニューの項目が開かれている場合にこのボタンが表示されます。マウスでこのボタンをクリックするか<Esc>を押すと、メインメニュー、または前の画面に戻ることができます。

## サブメニュー

サブメニューが含まれる項目の前には、「>」マークが表示されます。サブメニューを表示するには、マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押します。

## ポップアップウィンドウ

マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

## スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。マウスやカーソルキー、または <Page Up>/<Page Down> で、画面をスクロールすることができます。

## ナビゲーションキー

UEFI BIOSメニュー画面の右下には、メニューの操作をするためのナビゲーションキーが表示されています。表示されるナビゲーションキーに従って、各項目の設定を変更します。

## ヘルプ

メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

## 構成フィールド

構成フィールドには各項目の現在設定されている状態や数値が表示されます。ユーザーによる変更が可能なフィールドは、選択することができます。

設定可能なフィールドは選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、そのフィールドをマウスで選択するか、表示されるナビゲーションキーに従い数値を変更し、<Enter>を押して決定します。



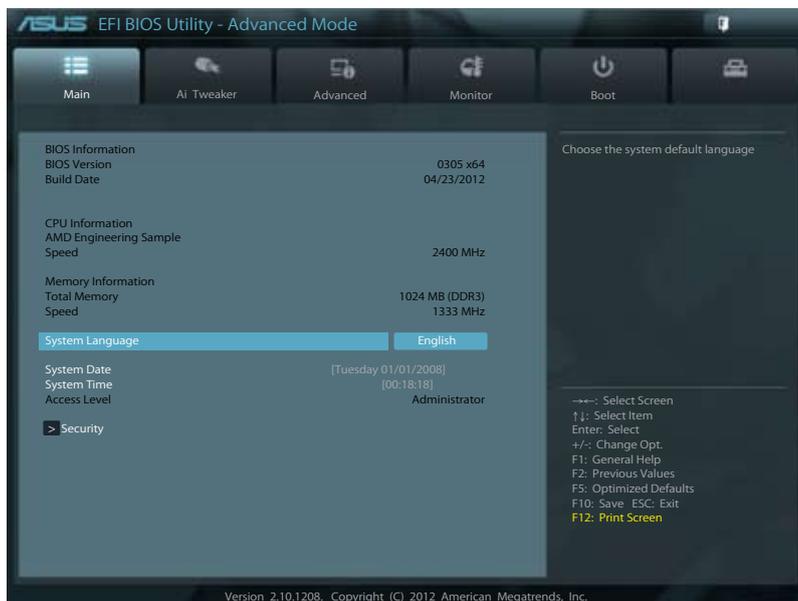
---

<F12>を押してUEFI BIOS 画面のスクリーンショットを撮影し、USBフラッシュメモリーに保存することができます。

---

## 2.3 メインメニュー

UEFI BIOS Utility のAdvanced Mode を起動すると、まず初めにメインメニューが表示されます。基本的なシステム情報が表示され、システムの日付、時間、言語、セキュリティの設定が可能です。



### 2.3.1 System Language [English]

オプションからUEFI BIOS Utility の表示言語を選択することができます。  
[English] [Français] [Deutsch] [简体中文] [繁體中文] [日本語]

### 2.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システムの日付を設定します。

### 2.3.3 System Time [xx:xx:xx]

システムの時間を設定します。

### 2.3.4 Security

システムセキュリティ設定の変更が可能です。



- パスワードを忘れた場合、CMOSクリアを実行し、パスワードを削除します。Clear CMOSジャンパの位置はセクション「1.9 ジャンパ」をご参照ください。
- パスワードを削除すると、画面上の「Administrator」または「User Password」の項目にはデフォルト設定値の「Not Installed」と表示されます。パスワードを再び設定すると、「Installed」と表示されます。

## Administrator Password

管理者パスワードを設定した場合は、システムにアクセスする際に管理者パスワードの入力を要求するように設定することをお勧めします。

### 管理者パスワードの設定手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Create New Password**」ボックスにパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

### 管理者パスワードの変更手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Enter Current Password**」ボックスに現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」ボックスに新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

管理者パスワードの消去も、管理者パスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、何も入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**Administrator Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

## User Password

ユーザーパスワードを設定した場合、システムにアクセスするときにユーザーパスワードを入力する必要があります。

### ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**User Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**Create New Password**」にパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

### ユーザーパスワードの変更手順

1. 「**User Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**Enter Current Password**」に現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」に新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

ユーザーパスワードの消去も、ユーザーパスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、何も入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**User Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

## 2.4 Ai Tweakerメニュー

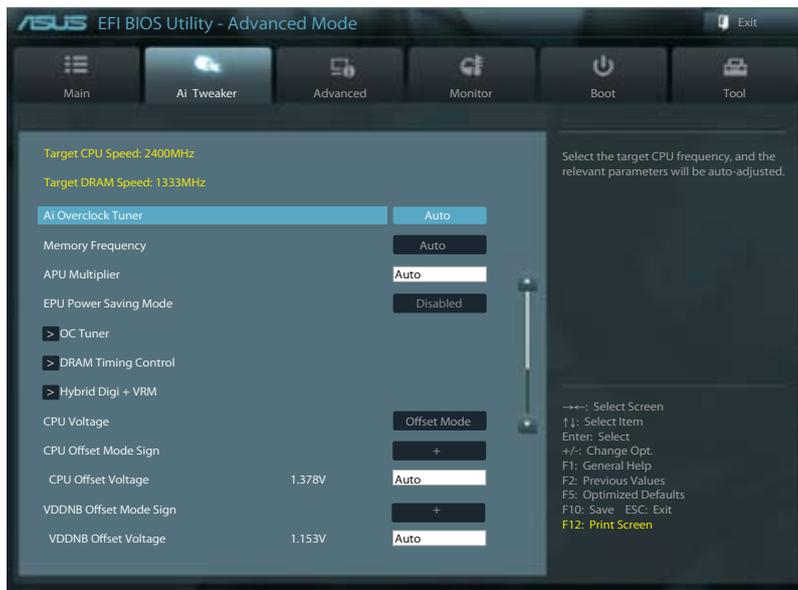
オーバークロックに関連する設定を行います。



Ai Tweaker メニューで設定値を変更する際はご注意ください。不正な値を設定するとシステム誤作動の原因となります。



このセクションの設定オプションは取り付けられたCPUとメモリーにより異なります。



画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。



### Target CPU Speed : xxxxMHz

設定保存後のTurbo boost時最大CPU動作周波数の目安が表示されます。

### Target DRAM Speed : xxxxMHz

設定保存後の最大メモリー動作周波数の目安が表示されます。

## 2.4.1 Ai Overclock Tuner [Auto]

CPUのオーバークロックオプションを選択して、CPUの内部周波数を設定することができます。オプションは以下のとおりです。

- [Auto] システムに最適な設定をロードします。  
[Manual] バスクロックを手動で設定します。  
[D.O.C.P.] DRAM O.C. Profileモードです。オーバークロックプロファイルを持つメモリーを取り付けた場合、最適なシステムパフォーマンスを得るためにこの項目を設定しプロファイルを選択します。選択したプロファイルに合わせて、メモリーの動作周波数やベースクロックなどが適切に設定されます。

### *APU Frequency [XXX]*

「**Ai Overclock Tuner**」の項目を **[Manual]** または**[D.O.C.P.]** にすると表示されます。システムバスクロック(ベースクロック)を設定します。システムバスクロックの数値は<+> <-> で調節します。または数字キーで直接入力します。  
設定範囲は 90.0MHz ~ 300.0MHz です。

### *DRAM O.C. Profile [DDR3-1600MHz 9-9-9-24 1.65V]*

「**Ai Overclock Tuner**」の項目を **[D.O.C.P.]** にすると表示され、周波数やタイミングの異なった「DRAM O.C. Profile」を選択することができます。

設定オプション:[DDR3-1600MHz 9-9-9-24 1.65V] [DDR3-1800MHz 9-9-9-24 1.65V]  
[DDR3-1866MHz 9-9-9-24 1.65V] [DDR3-2000MHz 9-9-9-24 1.65V]  
[DDR3-2133MHz 9-9-9-24 1.65V] [DDR3-2200MHz 9-9-9-24 1.65V]  
[DDR3-2400MHz 9-9-9-24 1.65V]

## 2.4.2 Memory Frequency [Auto]

メモリーの動作周波数を設定します。

設定オプション:[Auto] [DDR3-800MHz] [DDR3-1066MHz] [DDR3-1333MHz] [DDR3-1600MHz]  
[DDR3-1866MHz]



メモリー周波数の設定値が高すぎると、システムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、設定をデフォルト設定値に戻してください。

## 2.4.3 APU Multiplier [Auto]

APUの動作倍率を調整することができます。比率の調節は <+> <-> で行います。

設定可能範囲はAPUにより異なります。

## 2.4.4 EPU Power Saving Mode [Disabled]

省電力機能「**EPU**」の有効/無効を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### *EPU Setting [Auto]*

この項目は「**EPU Power Saving MODE**」を有効にすると表示され、EPU省電力モードを選択できます。

設定オプション:[Auto] [Light Power Saving Mode] [Medium Power Saving Mode]  
[Max Power Saving Mode]

## 2.4.5 OC Tuner

OC Tuner はメモリーとCPUの電圧と周波数を自動的にオーバークロックし、システムパフォーマンスを強化します。<Enter> を押し、「**OK**」を選択するとオーバークロックを自動的に開始します。  
設定オプション:[OK] [Cancel]

## 2.4.6 DRAM Timing Control

メモリーのアクセスタイミングに関する各処理時間を設定することができます。数値の調節は <+> <-> で行います。デフォルト設定に戻すには、キーボードで [auto] と入力し、<Enter>を押します。



この項目の設定を変更するとシステムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、デフォルト設定に戻してください。

## 2.4.7 Hybrid DIGI+ VRM

### Load-Line Calibration [Auto]

CPUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、CPUとVRMからの発熱量は増加します。この項目では、電圧の範囲を次の%で設定可能です。

0% (Regular)、25% (Medium)、50% (High)、75% (Ultra High)、00% (Extreme)

設定オプション: [Auto] [Regular] [Medium] [High] [Ultra High] [Extreme]



実際のパフォーマンスは取り付けられたCPUにより異なります。

### CPU/NB Load-Line Calibration [Auto]

メモリーコントローラーへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、ノースブリッジチップセットとVRMからの発熱量は増加します。

設定オプション: [Auto] [Regular] [High] [Extreme]

### VRM Fixed Frequency [xxx]

VRMの固定周波数を設定します。数値の調節は <+> <-> で行います。

設定範囲は250KHz~400KHzで、50KHz刻みで調節します。

### CPU Power Phase Control [Standard]

動作中のCPU用電圧調整モジュール(VRM)数の制御方法を設定します。システム負荷が大きい環境でフェーズ数を増やすと、過渡応答と放熱システムのパフォーマンスが向上します。システム負荷が小さい環境でフェーズ数を減らすと、VRM効率が上がります。

設定オプション: [Standard] [Optimized] [Extreme] [Manual Adjustment]



パラメータを変更中に、サーマルモジュールを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。

## 2.4.8 CPU Voltage [Offset Mode]

[Offset Mode] CPU固有の基準値に対して電圧を設定します。

### CPU Offset Mode Sign [+]

[+] CPU Offset Voltageで指定した値の電圧を上げます。

[-] CPU Offset Voltageで指定した値の電圧を下げます。

#### CPU Offset Voltage [Auto]

CPUオフセット電圧を設定します。

設定範囲は 0.000V～0.500Vで、0.003125V刻みで調節します。



CPU電圧の設定を行う前にCPUの説明書をご参照ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。

### VDDNB Offset Mode Sign [+]

[+] VDDNB Offset Voltageで指定した値の電圧を上げます。

[-] VDDNB Offset Voltageで指定した値の電圧を下げます。

#### VDDNB Offset Voltage [Auto]

VDDNBオフセット電圧を設定します。設定範囲は 0.000V～0.500Vで、0.00625V刻みで調節します。

## 2.4.9 DRAM Voltage [Auto]

メモリーの電圧を設定します。

設定範囲は1.35V～1.8Vで、0.15V刻みで調節します。



- 各項目はリスクの度合いに応じて色分けして表示されます。
- 電圧を高く設定する場合は、冷却システムを増強することをお勧めします。

## 2.4.10 APU Spread Spectrum [Auto]

APU動作周波数を変調させることで信号伝送時の電磁波(EMI)を低減させる機能の有効/無効を設定します。

[Auto] 自動設定します。

[Disabled] BCLK(ベースクロック)のオーバークロック性能を強化します。

[Enabled] EMIを制御します。

## 2.5 アドバンスドメニュー

APU、チップセット、オンボードデバイスなどの詳細設定の変更ができます。



アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の変更は十分にご注意ください。



### 2.5.1 CPU設定

UEFI BIOSが自動的に検出するAPU関連の情報です。



この画面に表示される項目は、取り付けられたAPUにより異なります。

#### Limit CPUID Maximum [Disabled]

[Enabled] CPUID拡張機能搭載のCPUをサポートしていない場合でも、レガシーOSを起動させます。

[Disabled] この機能を無効にします。

#### C6 Mode [Auto]

C6モードの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Auto] [Enabled] [Disabled]

#### CPB Mode [Auto]

CPB (Core Performance Boost) モードの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

#### AMD PowerNow function [Enabled]

AMD PowerNow 機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### SVM [Enabled]

AMD SVM (Security and Virtual Machine architecture)の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### C-state Pmin [Enabled]

C-state Pmin の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 2.5.2 SATA設定

UEFI BIOS Utility の起動中は、UEFI BIOSは自動的にシステムに取り付けられたSATAデバイスを検出します。取り付けられていない場合は、SATA Port の項目は「**Not Present**」と表示されます。

### OnChip SATA Channel [Enabled]

オンボードチャンネルSATAポートの有効/無効を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### OnChip SATA Type [IDE]

この項目は「**OnChip SATA Channel**」を [Enabled] にすると表示され、SATAタイプを選択することができます。

[IDE] SATAデバイスをIDEデバイスとして認識させます。

[RAID] SATAデバイスでRAIDアレイを構築することができます。

[AHC] SATAデバイス本来の性能を発揮させます。このモードを選択することによりホットプラグ機能とネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ) をサポートすることができます。

### Board SATA RAID ROM [Legacy ROM]

「**OnChip SATA Type**」の項目を [RAID] に設定すると表示されます。

[Disabled] この機能を無効にします。

[Legacy ROM] レガシーOSを使用する場合、このオプションを選択します。

[UEFI DRIVER] UEFI OSを使用する場合、このオプションを選択します。

### S.M.A.R.T. Status Check [Enabled]

自己診断機能 S.M.A.R.T.(Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology)の有効/無効を設定します。記憶装置で読み込み/書き込みエラーが発生すると、POST実行中に警告メッセージが表示されます。

設定オプション:[Enabled] [Disabled]

## 2.5.3 USB 設定

USB関連の機能を変更することができます。



「**USB Devices**」の項目には自動検出した値が表示されます。USBデバイスが検出されない場合は「**None**」と表示されます。

### Legacy USB Support [Enabled]

[Enabled] レガシーOS用にUSBデバイスのサポートを有効にします。

[Disabled] USBデバイスはUEFI BIOS Utility でのみ使用できます。

[Auto] 起動時にUSBデバイスを検出します。USBデバイスが検出されると、USBコントローラーのレガシーモードが有効になり、検出されないレガシーUSBのサポートは無効になります。

## EHCI Hand-off [Disabled]

[Enabled] EHCI ハンドオフ機能のないOSでも問題なく動作させることができます。  
[Disabled] この機能を無効にします。

## 2.5.4 ノースブリッジ設定

### IGPU Multi-Monitor [Disabled]

追加VGAデバイス用に統合型グラフィックスのマルチモニターサポートを設定します。この機能を有効にした場合、システムメモリーには統合型グラフィックス用のメモリーサイズが割り当てられます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



ATI 4350 やATI 5750 など、旧モデルのビデオカードを使用してIGPU Multi Monitor を構成する場合は、必ず統合型グラフィックスのドライバーをインストールする前に、ビデオカードのドライバーをインストールしてください。インストールの順序を間違えるとデバイスマネージャーのビデオカード項目にエラーが表示され、正常に動作いたしません。

### Primary Video Device [PCIe / PCI Video]

プライマリのグラフィックデバイスとして使用するグラフィックコントローラーを選択します。統合型グラフィックスをプライマリ出力デバイスとして使用する場合は、この項目を[IGFX Video]に設定します。

設定オプション: [IGFX Video] [PCIe / PCI Video]

### Integrated Graphics [Auto]

統合型グラフィックスコントローラーの動作を設定します。

設定オプション: [Auto] [Force]

## 2.5.5 オンボードデバイス設定構成

### HD Audio Device [Enabled]

[Enabled] High Definition Audio コントローラーを有効にします。  
[Disabled] コントローラーを無効にします。



次の項目は「HD Audio Device」の項目を [Enabled] にすると表示されます。

### Front Panel Type [HD]

フロントパネルオーディオモジュールがサポートするオーディオ規格により、フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードをAC'97またはHDオーディオに設定することができます。

[HD] フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードをHDオーディオにします。  
[AC'97] フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードをAC'97にします。

### Atheros LAN Controller [Enabled]

[Enabled] Atherosギガビット・イーサネット・コントローラーを有効にします。  
[Disabled] Atherosギガビット・イーサネット・コントローラーを無効にします。

### Atheros ROM [Disabled]

この項目は前の項目を [Enabled] にすると表示され、Atheros ギガビット・イーサネット・コントローラーのRom Help の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

## Serial Port Configuration

このメニューのサブメニューでは、シリアルポートの設定を行います。

### Serial Port [Enabled]

シリアルポート (COM) の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### Change Settings [IO=3F8h; IRQ=4]

「**Serial Port**」の項目を有効にすると表示されます。シリアルポートのベースアドレスを設定します。

設定オプション: [Auto] [IO=3F8h; IRQ=4] [IO=2F8h; IRQ=3] [IO=3E8h; IRQ=4]  
[IO=2E8h; IRQ=3]

## 2.5.6 APM

### Restore AC Power Loss [Power Off]

[Power On] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はONとなります。  
[Power Off] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はOFFのままとなります。  
[Last State] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源は遮断される直前の状態に戻ります。

### Power On By PS/2 Keyboard [Disabled]

[Disabled] PS/2 キーボードで電源をONにする機能を無効にします。  
[Space Bar] PS/2 キーボードのスペースキー (スペースバー) でシステムをONにします。  
[Ctrl+Esc] PS/2 キーボードの <Ctrl+Esc> でシステムをONにします。  
[Power Key] PS/2 キーボードのPower キーでシステムをONにします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

### Power On By PME [Disabled]

[Disabled] PCI/PCIEデバイスによるPME信号受信のウェイクアップ機能を無効にします。  
[Enabled] PCI/PCIE接続のLANまたはモデムカードによるPME信号受信のウェイクアップ機能を有効にします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給する電源ユニットを必要とします。

### Power On By Ring [Disabled]

[Disabled] 外部モデムが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を無効にします。  
[Enabled] 外部モデムが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を有効にします。

### Power On By RTC [Disabled]

[Disabled] RTCによるウェイクアップ機能を無効にします。  
[Enabled] **[Enabled]** に設定すると、「**RTC Alarm Date (Days)**」と「**Hour/Minute/Second**」の項目がユーザー設定可能になります。

## 2.5.7 Network Stack

### Network Stack [Disable Link]

UEFI ネットワークスタックの有効/無効を設定します。  
設定オプション: [Disable Link] [Enable]

### Ipv4 PXE Support [Enabled]

この項目は「**Network Stack**」の項目を **[Enabled]** に設定すると表示されます。IPv4を使用したPXEによるネットワークブートの有効/無効を設定します。  
設定オプション: [Disable Link] [Enabled]

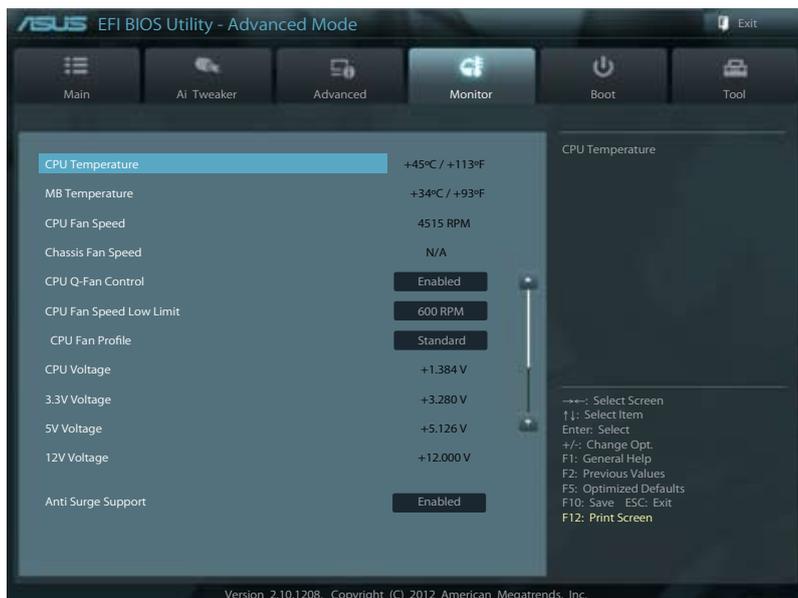
## Ipv6 PXE Support [Enabled]

この項目は「Network Stack」の項目を [Enabled] に設定すると表示されます。IPv6を使用したPXEによるネットワークブートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disable Link] [Enabled]

## 2.6 モニターメニュー

システム温度/電源の状態が表示されます。また、ファンの各種設定変更が可能です。



### 2.6.1 CPU Temperature / MB Temperature [xxx°C/xxx°F]

オンボードハードウェアモニターはAPUの温度とマザーボードの温度を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

### 2.6.2 CPU / Chassis Fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A]

オンボードハードウェアモニターはCPUファン、ケースファンのスピードを自動検出し、RPMの単位で表示します。マザーボードにファンが接続されていない場合は、[N/A] と表示されます。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

### 2.6.3 CPU Q-Fan Control [Enabled]

[Disabled] この機能を無効にします。

[Enabled] CPUファンのQ-Fanコントロール機能を有効にします。

### CPU Fan Speed Low Limit [600 RPM]

この項目は「CPU Q-Fan Control」を有効にすると表示されます。CPUファンの最低回転数を設定します。CPUファンの回転数がこの値を下回ると警告が発せられます。

設定オプション: [Ignore] [200 RPM] [300 RPM] [400 RPM] [500 RPM] [600 RPM]

#### CPU Fan Speed Low Limit [600 RPM]

この項目は「**CPU Q-Fan Control**」を有効にすると表示されます。CPUファンの警告下限速度を設定します。

設定オプション: [Ignore] [200RPM] [300 RPM] [400 RPM] [500 RPM] [600 RPM]

#### CPU Fan Profile [Standard]

この項目は「**CPU Q-Fan Control**」機能を有効にすると表示されます。CPUファンの最適なパフォーマンスレベルを設定できます。

[Standard] CPUファン速度をCPU温度に合わせて自動的に調節します。

[Silent] CPUファン速度を最低限に抑え、静音環境を実現します。

[Turbo] CPUファン速度は最大になります。

[Manual] CPUファン速度を手動で設定します。



---

次の4つの項目は「**CPU Fan Profile**」を **[Manual]** にすると表示されます。

---

#### **CPU Upper Temperature [70°C]**

APU温度の上限温度を設定します。APUの温度がこの上限値に達すると、CPUファンはデューティーサイクルの最大値で動作します。

設定範囲は 20°C~90°Cです。

#### **CPU Fan Max. Duty Cycle(%) [100%]**

CPUファンのデューティーサイクルの最大値を設定します。設定値は最小デューティーサイクル以上である必要があります。

設定範囲は 40%~100%です。

#### **CPU Lower Temperature [20°C]**

APU温度の下限温度を設定します。APUの温度がこの下限値を下回ると、CPUファンはデューティーサイクルの最小値で動作します。設定値はAPU温度の上限値以下である必要があります。

#### **CPU Fan Min. Duty Cycle(%) [40%]**

APUファンのデューティーサイクルの最小値を設定します。設定値は最大デューティーサイクル以下である必要があります。

設定範囲は 40%~100%です。

## 2.6.4 CPU Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage

オンボードハードウェアモニターは電圧レギュレータを通して電圧出力を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

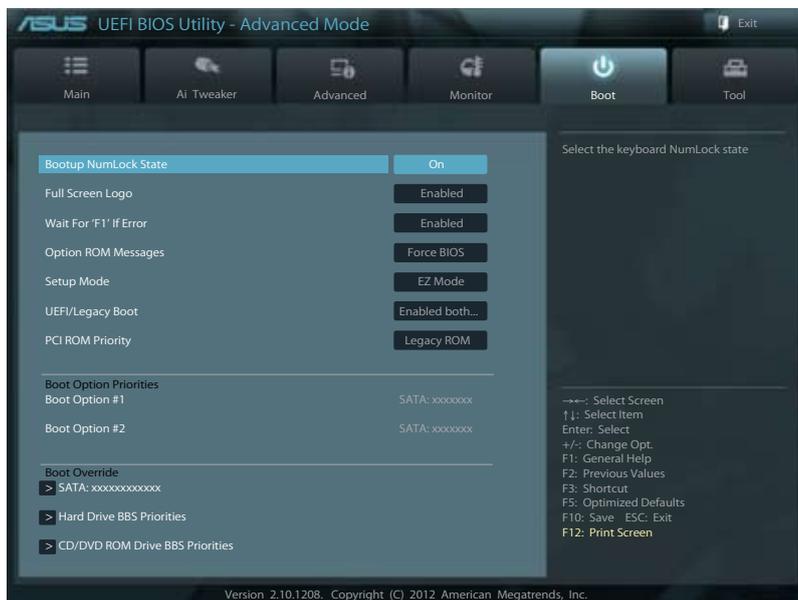
## 2.6.5 Anti Surge Support [Enabled]

アンチサージ機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 2.7 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。



### 2.7.1 Bootup NumLock State [On]

- [On] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能をONにします。
- [OFF] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能はOFFの状態です。

### 2.7.2 Full Screen Logo [Enabled]

- [Enabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示します。
- [Disabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示しません。



ASUS MyLogo™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

### Post Report [5 sec]

システムがPOSTのレポートを表示するまでの待ち時間を設定します。この項目は「Full Screen Logo」の項目を [Disabled] に表示すると表示されます。

設定オプション: [1 sec] [2 sec] [3 sec] [4 sec] [5 sec] [6 sec] [7 sec] [8 sec] [9 sec] [10 sec]  
[Until Press ESC]

### 2.7.3 Wait for 'F1' If Error [Enabled]

- [Enabled] にすると、POSTエラー発生時に<F 1> を押すまでシステムを待機させます。
- 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 2.7.4 Option ROM Messages [Force BIOS]

- [Force BIOS] サードパーティのROMメッセージをブートシーケンス時に強制的に表示させます。
- [Keep Current] アドオンデバイスの設定に従い、サードパーティROMメッセージを表示させます。

## 2.7.5 Setup Mode [EZ Mode]

- [Advanced Mode] UEFI BIOS Utility起動時の初期画面として、Advanced Mode を表示します。
- [EZ Mode] UEFI BIOS Utility起動時の初期画面として、EZ Mode を表示します。

## 2.7.6 UEFI/Legacy Boot [Enabled both UEFI and Legacy]

- [Enable both UEFI and Legacy] UEFIデバイス、またはレガシーデバイスからの起動を有効にします。
- [Disable UEFI] UEFIデバイスからの起動を無効にします。
- [Disable Legacy] レガシーデバイスからの起動を無効にします。

## 2.7.7 PCI ROM Priority [Legacy ROM]

複数のPCI/PCI ExpressデバイスにオプションROM(レガシーとEFIに互換性のあるROM)が搭載されている場合、ROMの優先順位を設定します。

設定オプション:[Legacy ROM] [EFI Compatible ROM]

## 2.7.8 Boot Option Priorities

使用可能なデバイスから、ブートデバイスの起動優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数に依存します。



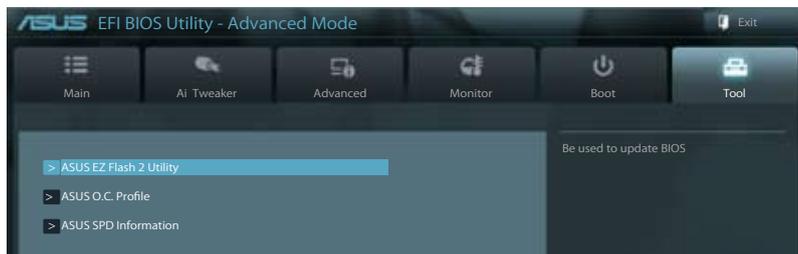
- システム起動中にブートデバイスを選択するには、POST時に<F8> を押します。
- セーフモードでWindows® OSを起動するには、POSTの後に<F8> を押します。ブートデバイスの選択画面が表示されてしまう場合は、ブートデバイスの選択画面で<ESC>を押した後にすばやく<F8>を押すことで詳細ブート オプションを起動することが可能です。

## 2.7.9 Boot Override

ブートデバイスを選択し起動します。画面に表示されるデバイスの項目の数は、システムに接続されたデバイスにより異なります。項目(デバイス)を選択すると、選択したデバイスからシステムを起動します。

## 2.8 ツールメニュー

ASUS独自機能の設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押してサブメニューを表示させることができます。



### 2.8.1 ASUS EZ Flash Utility

ASUS EZ Flash 2 Utility を起動します。<Enter>を押すと、確認メッセージが表示されます。カーソルキーを使って [Yes] または [No] を選択し <Enter> を押して選択を決定します。



詳細はセクション「2.1.2 ASUS EZ Flash 2」をご参照ください。

### 2.8.2 ASUS O.C. Profile

複数のBIOS設定を保存して簡単に呼び出すことができます。



プロファイルが作成されていない場合、「Setup Profile Status」には「Not Installed」と表示されます。

#### Label

保存するプロファイルのタイトルを入力します。

#### Save to Profile

現在の設定をプロファイルとして保存します。キーボードで1から8の数字を入力しプロファイル番号を割り当て、<Enter>を押し「Yes」を選択します。

#### Load from Profile

保存したプロファイルから設定を読み込みます。プロファイルの番号をキーボードで入力し、<Enter>を押し「Yes」を選択します。



- 設定をロード中はシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。
- 設定をロードする場合は、保存された設定の構成時と同一のハードウェア (CPU、メモリーなど) とBIOSバージョンでの使用をお勧めします。異なったハードウェアやBIOSバージョン設定をロードすると、システム起動エラーやハードウェアが故障する可能性があります。

### 2.8.3 ASUS SPD Information

#### DIMM Slot # [DIMM\_A1]

選択されたスロットに取り付けられたメモリーのSPD (Displays the Serial Presence Detect) 情報を表示します。

設定オプション: [DIMM\_A1] [DIMM\_B1]

## 2.9 終了メニュー

設定の保存や取り消しのほか、デフォルト設定の読み込みを行います。終了メニューから **EZ Mode** を起動することができます。



### Load Optimized Defaults

それぞれの値に、デフォルト設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択してデフォルト設定値をロードします。

### Save Changes & Reset

設定が終了したら、「**Exit**」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAM に保存して終了します。このオプションを選択するか、<F10>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して、設定変更を保存し、UEFI BIOS Utilityを閉じます。

### Discard Changes & Exit

UEFI BIOS Utility で行った設定を破棄し、セットアップを終了する場合にこの項目を選択します。このオプションを選択するか<ESC>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して、設定変更を保存せずに、UEFI BIOS Utilityを閉じます。

### ASUS EZ Mode

EZ Mode を起動します。

### Launch UEFI Shell from filesystem device

USBストレージデバイスから、EFI Shell アプリケーション(Shellx64.efi)を起動します。



# Chapter 3

## 付録

### ご注意

#### Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

#### IC: Canadian Compliance Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. This device complies with RSS 210 of Industry Canada. This Class B device meets all the requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

This device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Cet appareil numérique de la Classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Cet appareil est conforme aux normes CNR exemptes de licence d'Industrie Canada. Le fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

- (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences et
- (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

## Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

## VCCI: Japan Compliance Statement

### VCCI Class B Statement

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

\*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

## REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.



**DO NOT** throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



**DO NOT** throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

## ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components as well as the packaging materials. Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for the detailed recycling information in different regions.

## ASUSコンタクトインフォメーション

### ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 15 Li-Te Road, Beitou, Taipei, Taiwan 11259  
電話(代表): +886-2-2894-3447  
ファックス(代表): +886-2-2890-7798  
電子メール(代表): info@asus.com.tw  
Webサイト: www.asus.com.tw

### テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911  
オンラインサポート: support.asus.com

### ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA  
電話: +1-510-739-3777  
ファックス: +1-510-608-4555  
Webサイト: http://usa.asus.com

### テクニカルサポート

電話: +1-812-282-2787  
サポートファックス: +1-812-284-0883  
オンラインサポート: support.asus.com

### ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所: Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany  
電話: +49-2102-95990  
ファックス: +49-2102-959911  
Webサイト: www.asus.de  
オンラインコンタクト: www.asus.de/sales

### テクニカルサポート

電話: +49-1805-010923\*  
サポートファックス: +49-2102-9599-11\*  
オンラインサポート: support.asus.com

\* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは 0.42ユーロ/分の通話料がかかります。

# DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2, Section 2.1077(e)



Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.**

Phone/Fax No: **(510)739-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

**Product Name : Motherboard**

**Model Number : F1A55-M LK R2.0**

Conforms to the following specifications:

- FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators
- FCC Part 15, Subpart C, Intentional Radiators
- FCC Part 15, Subpart E, Intentional Radiators

### Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

Signature :

Date : May 10, 2012

Ver. 110101

# EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer: **ASUSTEK COMPUTER INC.**  
Address, City: **No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.**  
Country: **TAIWAN**  
Authorized representative in Europe: **ASUS COMPUTER GmbH**  
Address, City: **HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN**  
Country: **GERMANY**

declare the following apparatus:

Product name : **Motherboard**  
Model name : **F1A55-M LK R2.0**

conform with the essential requirements of the following directives:

**89/2004/108/EC-EMC Directive**  
 EN 55032:2010  
 EN 61000-3-2:2006+A1:2009+A2:2009  
 EN 61000-3-3:2008  
 EN 55026:2007

**1989/5/EC-R & TTE Directive**

EN 300 328 V1.7.1(2006-10)  
 EN 300 342 V1.2(2006-03)  
 EN 300 440-2 V1.2(2008-03)  
 EN 300 440-3 V1.2(2008-03)  
 EN 301 511 V9.6.2(2003-03)  
 EN 301 908-1 V3.2(12007-05)  
 EN 301 908-2 V3.2(12007-05)  
 EN 301 908-3 V3.2(12007-05)  
 EN 301 893 V1.4.1(2005-03)  
 EN 301 893 V1.4.2(2005-03)  
 EN 302 544-2 V1.1(2009-01)  
 EN 50960:2001  
 EN 50960:2001  
 EN 50960:2002  
 EN 50960:2002

**89/2006/95/EC-LVD Directive**

EN 60950-1 /A11:2009  
 EN 60950-1 /A12:2011  
 **2009/125/EC-ErP Directive**

Regulation (EC) No. 1275/2008  
 EN 62301:2005

Regulation (EC) No. 278/2009  
 EN 62301:2005  
Regulation (EC) No. 642/2009  
 EN 62301:2005

**CE marking**



(EC conformity marking)

Position : **CEO**  
Name : **Jerry Shien**

Signature : \_\_\_\_\_

Declaration Date: **Mar. 10, 2012**  
Year to begin affixing CE marking: **2012**